

## 令和2年度 食料・農林水産業・農山漁村に関する意識・意向調査 森林資源の循環利用に関する意識・意向調査結果

本調査は、令和2年10月中旬から11月上旬にかけて、森林資源の循環利用に関する意識・意向に関して、林業者690経営体、流通加工業者466事業所、消費者1,000人から回答を得た結果である。

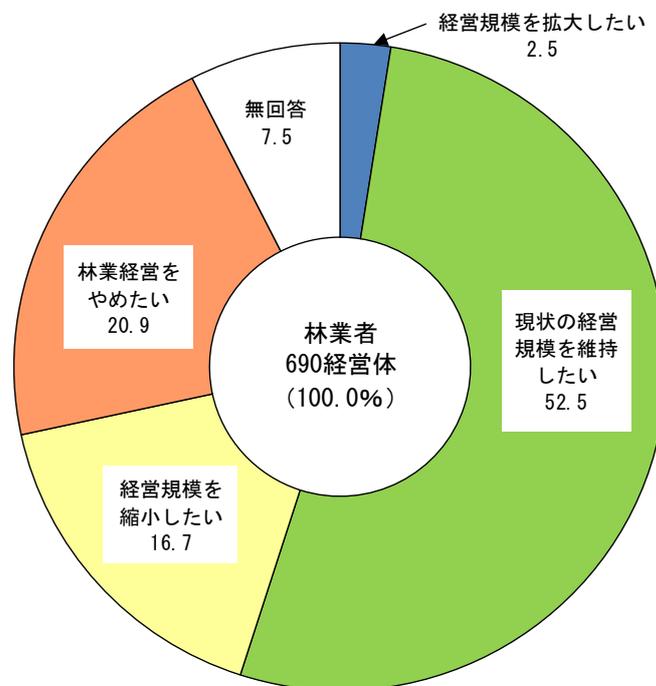
### 【調査結果】

#### 1 林業者

##### (1) 今後、森林の保有面積、雇用人数、機械台数等の経営規模をどうしていきたいか

今後、森林の保有面積、雇用人数、機械台数等の経営規模をどうしていきたいかについては、「現状の経営規模を維持したい」と回答した割合が52.5%と最も高く、次いで「林業経営をやめたい」（20.9%）、「経営規模を縮小したい」（16.7%）の順であった。（詳細は、統計表22、23ページ）

図1 今後、森林の保有面積、雇用人数、機械台数等の経営規模をどうしていきたいか

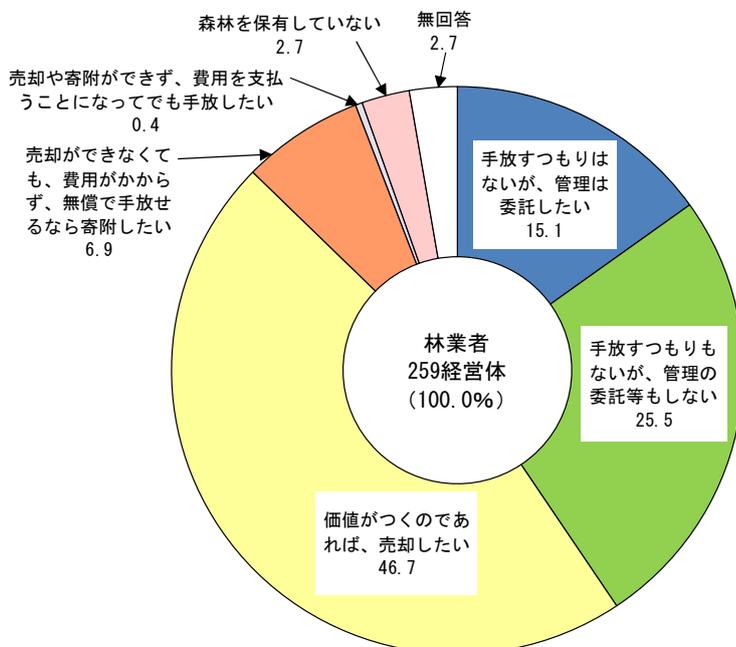


注：表示単位未満を四捨五入したため、内訳の計が100.0%とならない場合がある（以下同じ。）。

## (2) 今後の保有する森林の取扱方針

今後、経営規模を縮小したい又は林業経営をやめたいと回答した者において、今後の保有する森林の取扱方針については、「価値がつくのであれば、売却したい」と回答した割合が46.7%と最も高く、次いで「手放すつもりもないが、管理の委託等もしない」(25.5%)、「手放すつもりはないが、管理は委託したい」(15.1%)の順であった。(詳細は、統計表22、23ページ)

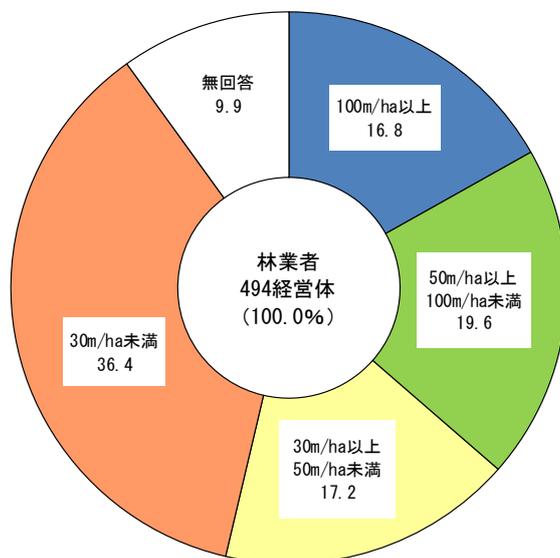
図2 今後の保有する森林の取扱方針



## (3) 保有山林における現在の路網の密度

今後、経営規模を拡大したい、現在の規模を維持したい又は縮小したいと回答した者において、保有山林における現在の路網の密度については、「30m/ha未満」と回答した割合が36.4%と最も高く、次いで「50m/ha以上100m/ha未満」(19.6%)、「30m/ha以上50m/ha未満」(17.2%)の順であった。(詳細は、統計表24、25ページ)

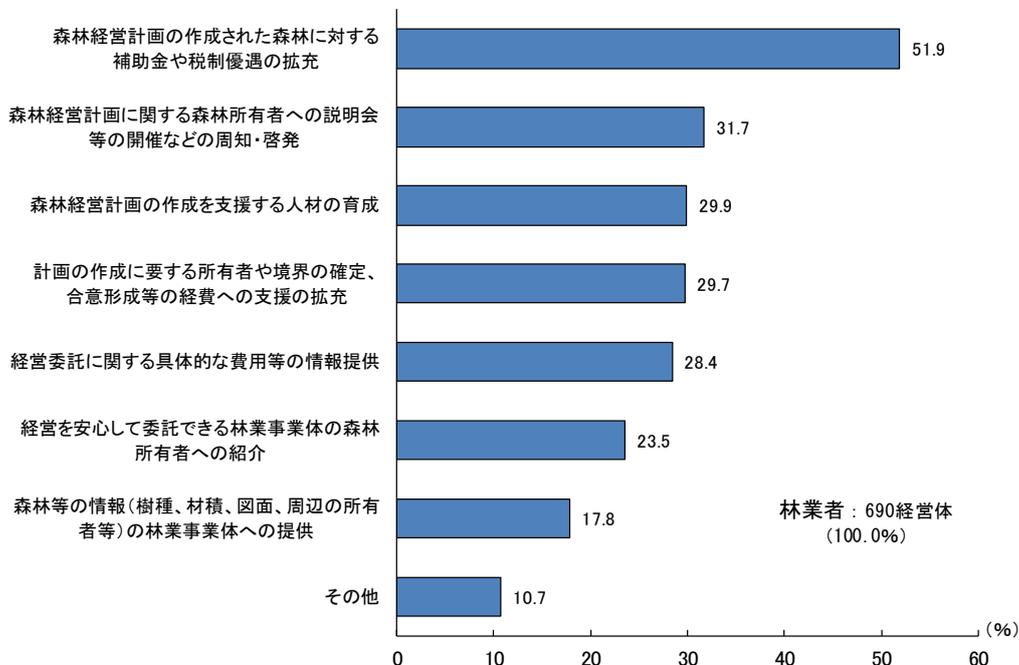
図3 保有山林における現在の路網の密度



(4) 「森林経営計画」の作成を進めるために必要な取組・支援

「森林経営計画」の作成を進めるために必要な取組・支援については、「森林経営計画の作成された森林に対する補助金や税制優遇の拡充」と回答した割合が 51.9%と最も高く、次いで「森林経営計画に関する森林所有者への説明会等の開催などの周知・啓発」(31.7%)、「森林経営計画の作成を支援する人材の育成」(29.9%)の順であった。(詳細は、統計表 26、27 ページ)

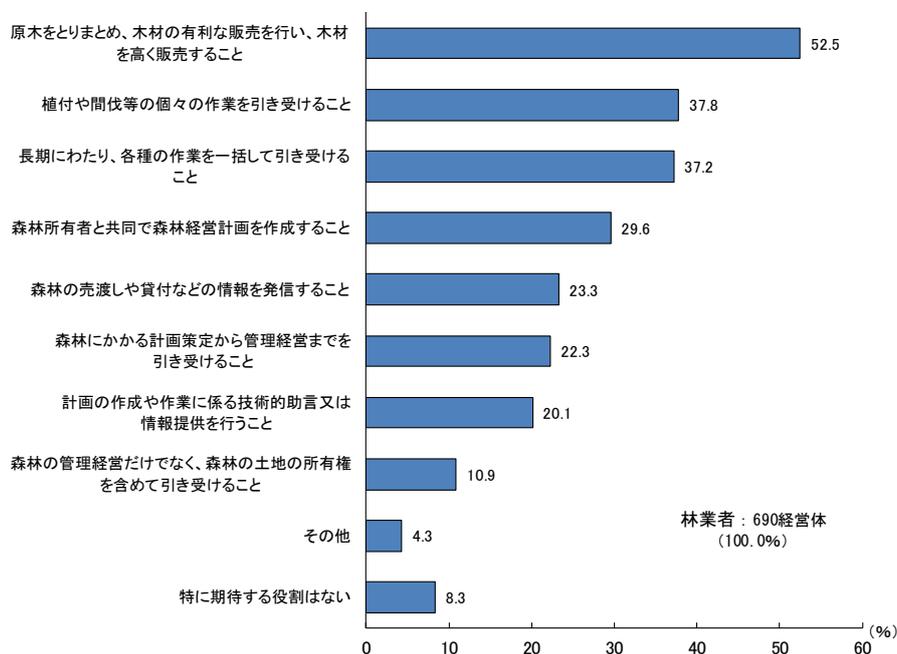
図4 「森林経営計画」の作成を進めるために必要な取組・支援 (複数回答)



(5) 伐採業者や森林組合などに期待する役割

伐採業者や森林組合などに期待する役割については、「原木をとりまとめ、木材の有利な販売を行い、木材を高く販売すること」と回答した割合が 52.5%と最も高く、次いで「植付や間伐等の個々の作業を引き受けること」(37.8%)、「長期にわたり、各種の作業を一括して引き受けること」(37.2%)の順であった。(詳細は、統計表 28、29 ページ)

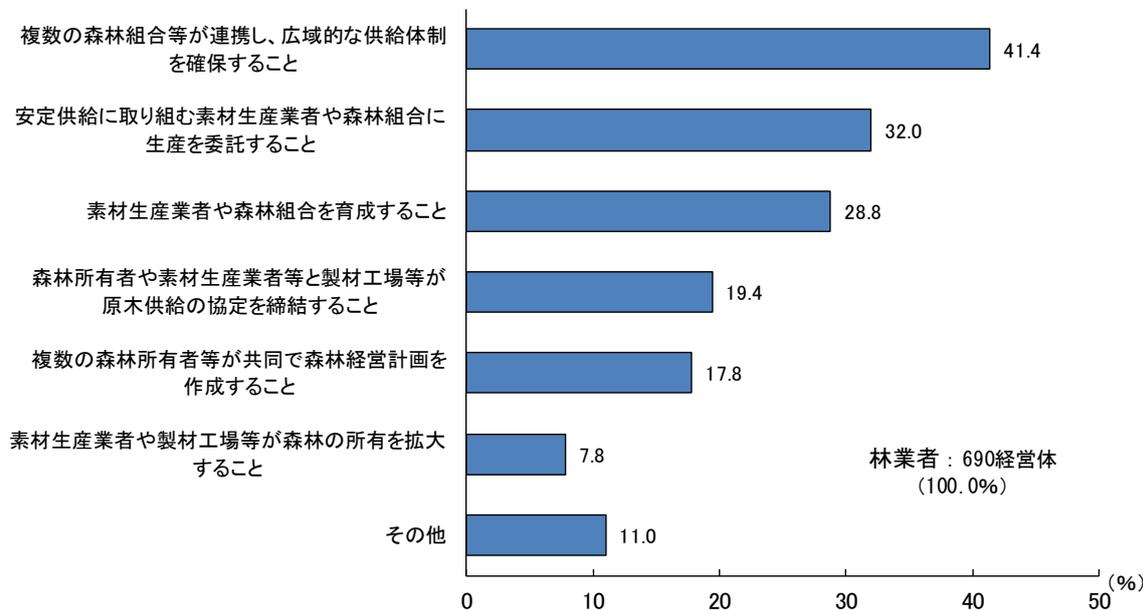
図5 伐採業者や森林組合などに期待する役割 (複数回答)



(6) 木材需要に応じた原木の安定供給のために効果的だと思われる取組

木材需要に応じた原木の安定供給のために効果的だと思われる取組については、「複数の森林組合等が連携し、広域的な供給体制を確保すること」と回答した割合が41.4%と最も高く、次いで「安定供給に取り組む素材生産業者や森林組合に生産を委託すること」(32.0%)、「素材生産業者や森林組合を育成すること」(28.8%)の順であった。(詳細は、統計表 28、29 ページ)

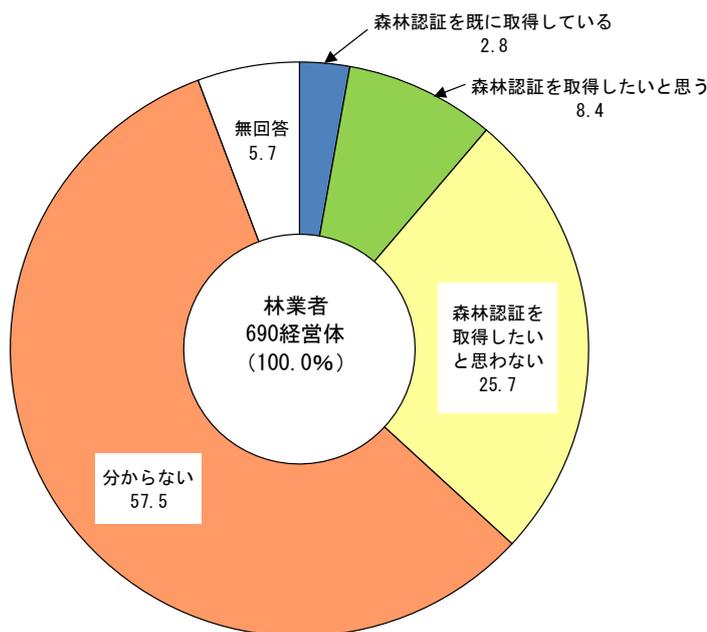
図6 木材需要に応じた原木の安定供給のために効果的だと思われる取組 (複数回答)



(7) 森林認証の取得の取組意向

森林認証の取得の取組意向について、回答した割合をみると「森林認証を既已取得している」(2.8%)、「森林認証を取得したいと思う」(8.4%)、「森林認証を取得したいと思わない」(25.7%)であった。(詳細は、統計表 28、29 ページ)

図7 森林認証の取得の取組意向

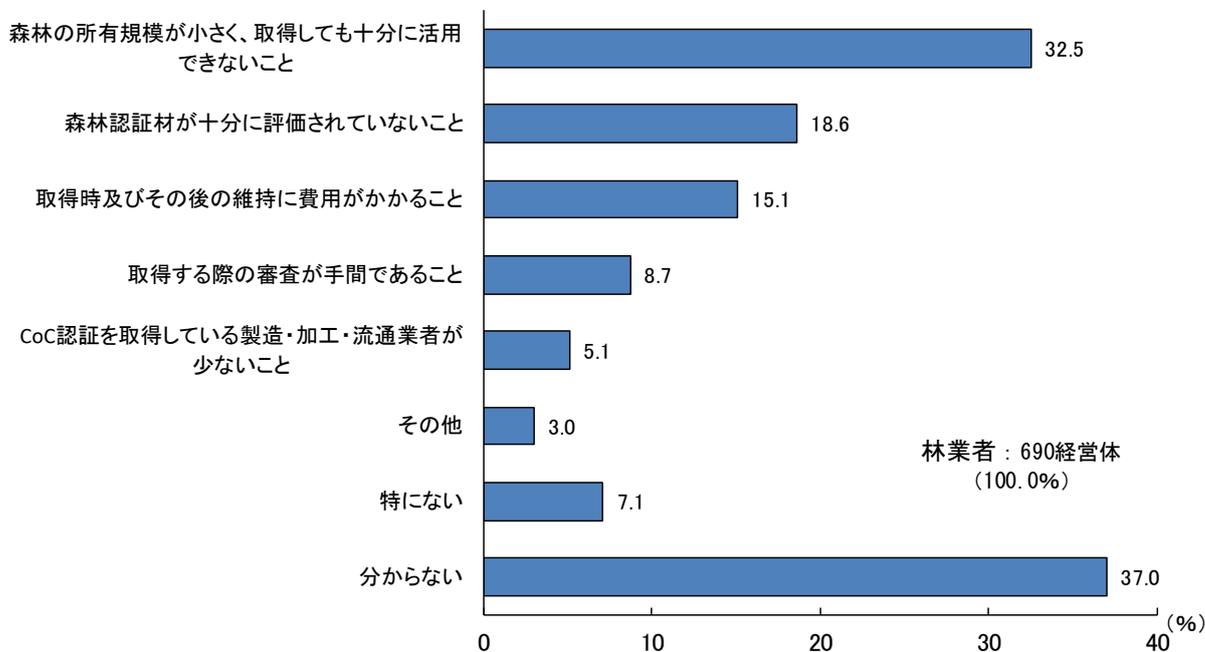


注：「森林認証」とは、適切な森林経営や持続可能な森林経営が行われている森林又は経営組織などを第三者機関が認証し、それらの森林から生産された木材・木材製品へラベルを貼り付けることにより、消費者選択的な購買を通じて、持続可能な森林経営を支援する取り組みである。

(8) 森林認証の取得の障害

森林認証の取得の障害については、「分からない」と回答した者を除き、「森林の所有規模が小さく、取得しても十分に活用できないこと」と回答した割合が32.5%と最も高く、次いで「森林認証材が十分に評価されていないこと」(18.6%)、「取得時及びその後の維持に費用がかかること」(15.1%)の順であった。(詳細は、統計表30、31ページ)

図8 森林認証の取得の障害(複数回答)

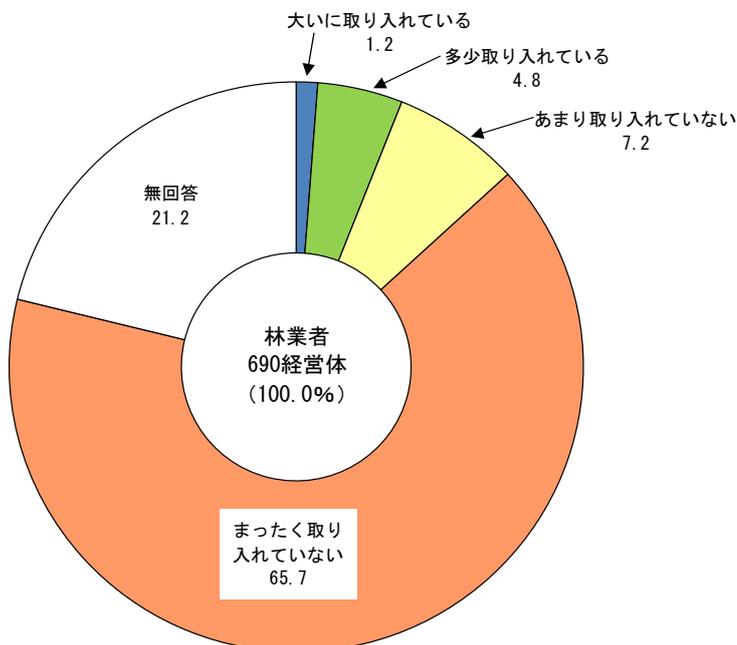


注：「CoC認証」とは、森林認証材が、非認証材と混合しないよう、各工場における木材及び木材製品の分別管理体制を第三者機関が審査し、承認する制度のことである。

(9) 業務の効率化を図るためのICT技術の取り入れ状況

業務の効率化を図るためのICT技術の取り入れ状況については、「まったく取り入れていない」と回答した割合が65.7%と最も高く、次いで「あまり取り入れていない」(7.2%)、「多少取り入れている」(4.8%)の順であった。(詳細は、統計表30、31ページ)

図9 業務の効率化を図るためのICT技術の取り入れ状況

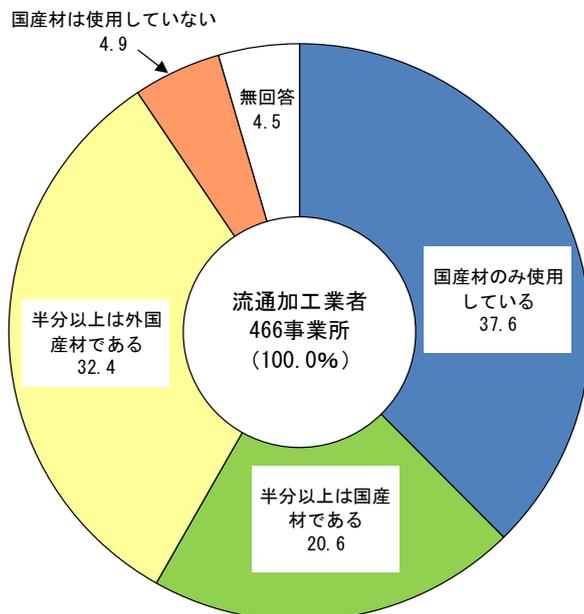


## 2 流通加工業者

### (1) 国産材の使用状況

国産材の使用状況については、「国産材のみ使用している」と回答した割合が 37.6%と最も高く、次いで「半分以上は外国産材である」(32.4%)、「半分以上は国産材である」(20.6%)の順であった。(詳細は、統計表 38、39 ページ)

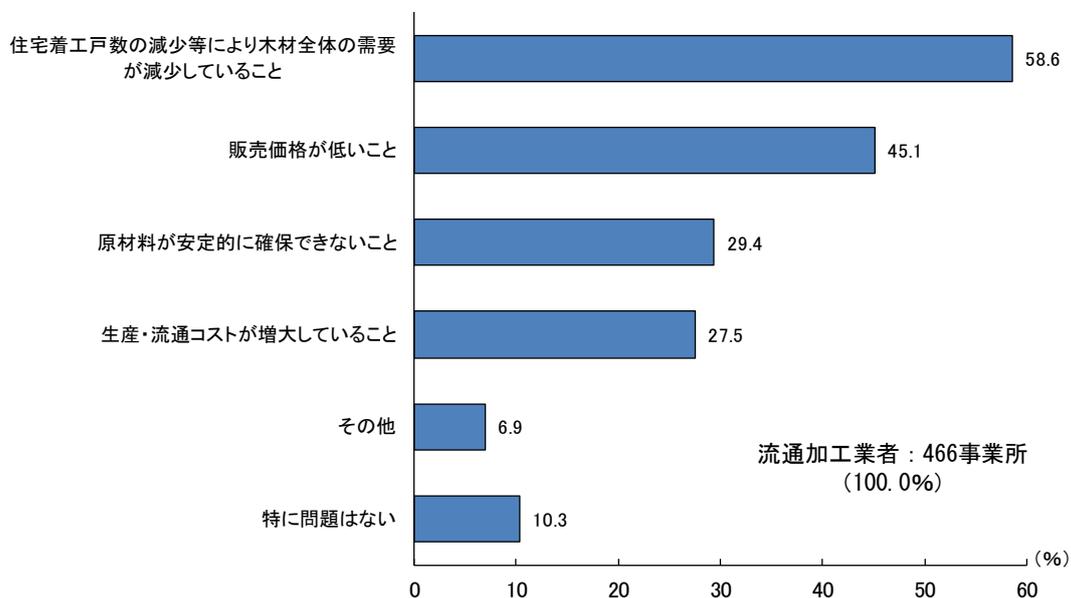
図 10 国産材の使用状況



### (2) 製品、商品を取り扱う際の主な問題

製品、商品を取り扱う際の主な問題については、「住宅着工戸数の減少等により木材全体の需要が減少していること」と回答した割合が 58.6%と最も高く、次いで「販売価格が低いこと」(45.1%)、「原材料が安定的に確保できないこと」(29.4%)の順であった。(詳細は、統計表 40、41 ページ)

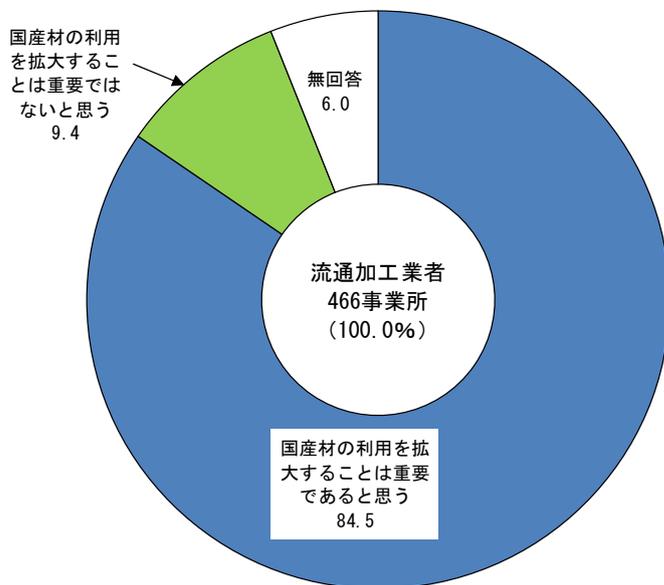
図 11 製品、商品を取り扱う際の主な問題 (複数回答)



(3) 製品、商品の原材料として国産材の利用を拡大することに対する考え

製品、商品の原材料として国産材の利用を拡大することに対する考えについては、「国産材の利用を拡大することは重要であると思う」と回答した割合が84.5%、「国産材の利用を拡大することは重要ではないと思う」が9.4%であった。（詳細は、統計表40ページ）

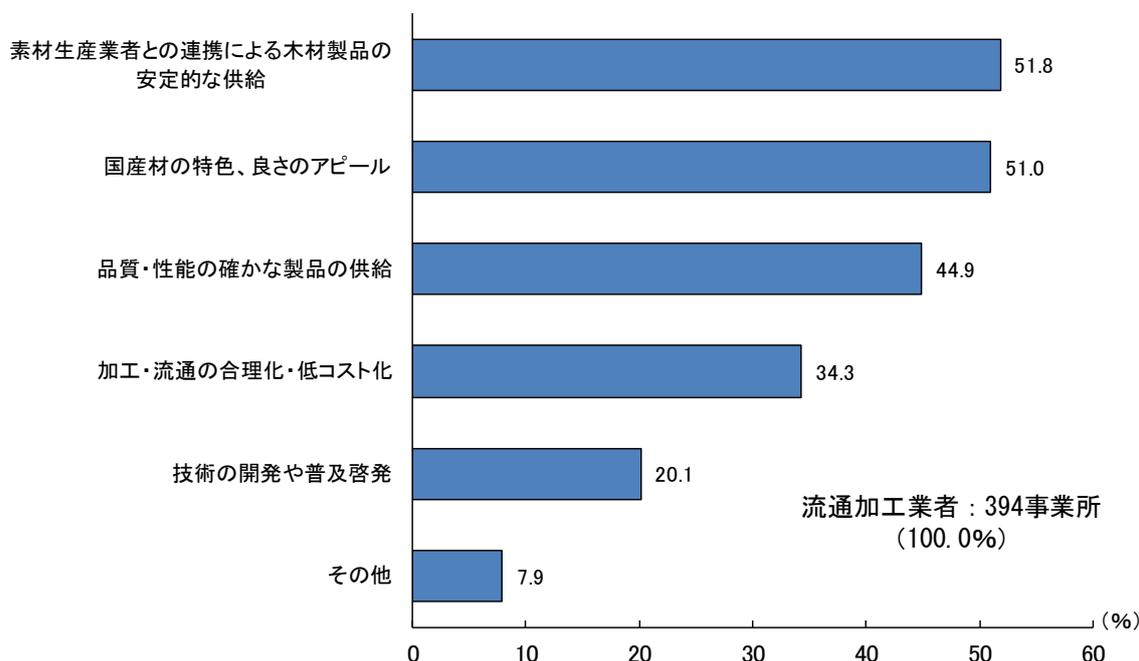
図12 製品、商品の原材料として国産材の利用を拡大することに対する考え



(4) 国産材の利用を拡大するために必要な取組

製品、商品の原材料として国産材の利用を拡大することは重要であると思うと回答した者において、国産材の利用を拡大するために必要な取組については、「素材生産業者との連携による木材製品の安定的な供給」と回答した割合が51.8%と最も高く、次いで「国産材の特色、良さのアピール」(51.0%)、「品質・性能の確かな製品の供給」(44.9%)の順であった。（詳細は、統計表42、43ページ）

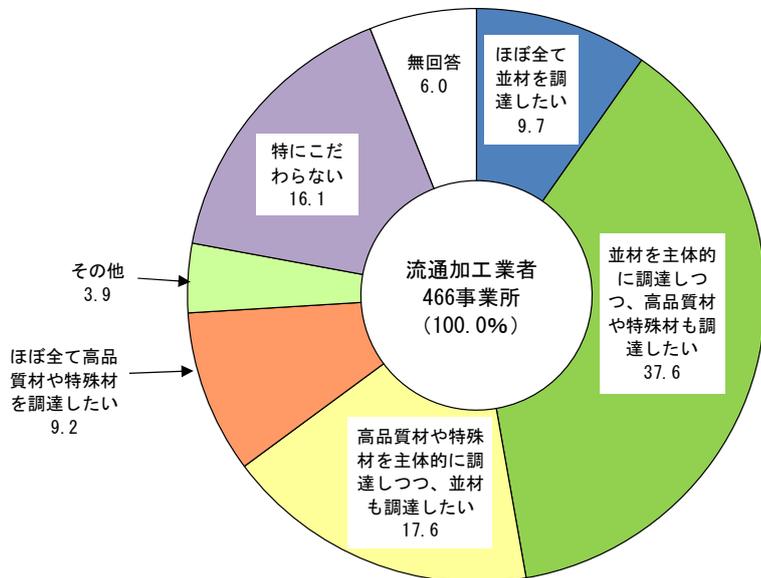
図13 国産材の利用を拡大するために必要な取組（複数回答）



(5) 調達を希望する素材

調達を希望する素材については、「並材を主体的に調達しつつ、高品質材や特殊材も調達したい」と回答した割合が37.6%と最も高く、次いで「高品質材や特殊材を主体的に調達しつつ、並材も調達したい」（17.6%）、「特にこだわらない」（16.1%）の順であった。（詳細は、統計表 42、43 ページ）

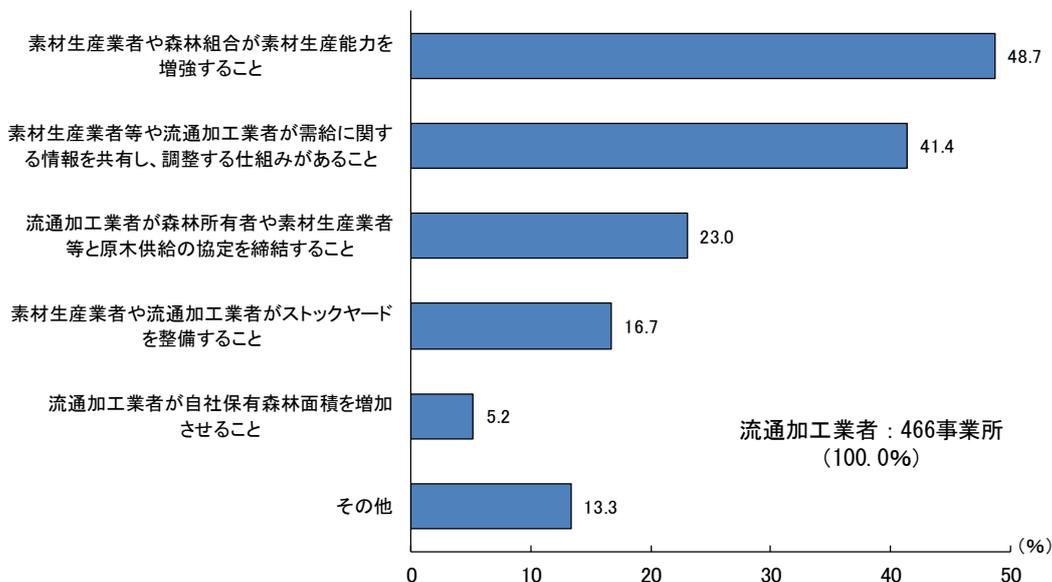
図 14 調達を希望する素材



(6) 原木の安定調達を図るために必要と思われる取組

原木の安定調達を図るために必要と思われる取組については、「素材生産業者や森林組合が素材生産能力を増強すること」と回答した割合が48.7%と最も高く、次いで「素材生産業者等や流通加工業者が需給に関する情報を共有し、調整する仕組みがあること」（41.4%）、「流通加工業者が森林所有者や素材生産業者等と原木供給の協定を締結すること」（23.0%）の順であった。（詳細は、統計表 42、43 ページ）

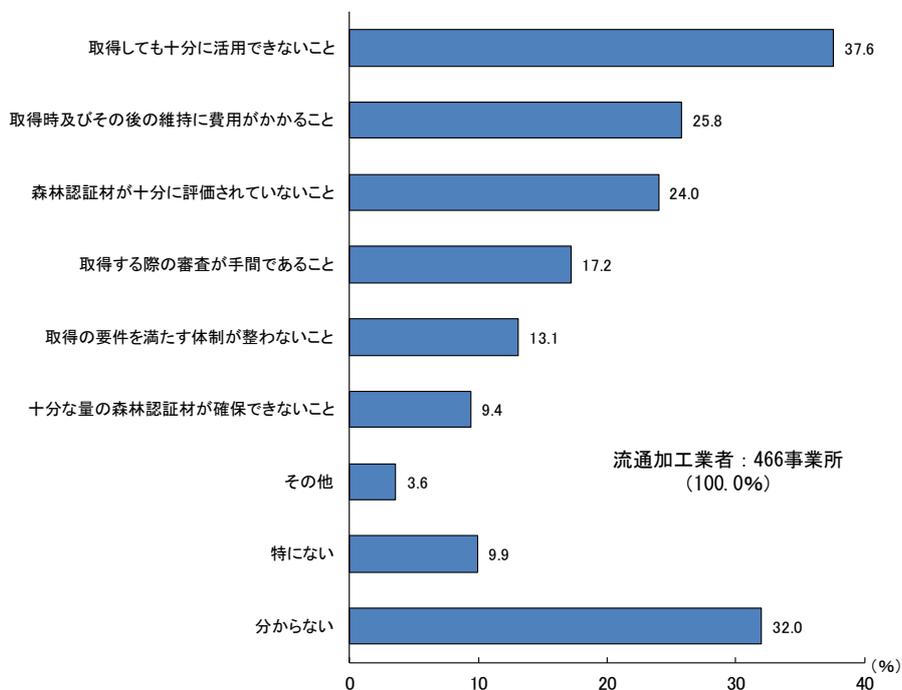
図 15 原木の安定調達を図るために必要と思われる取組（複数回答）



(7) 森林認証材を取り扱う際に必要な CoC 認証の取得にあたり想定される障害

森林認証材を取り扱う際に必要な CoC 認証の取得にあたり想定される障害については、「取得しても十分に活用できないこと」と回答した割合が 37.6%と最も高く、次いで「取得時及びその後の維持に費用がかかること」(25.8%)、「森林認証材が十分に評価されていないこと」(24.0%)の順であった。(詳細は、統計表 46、47 ページ)

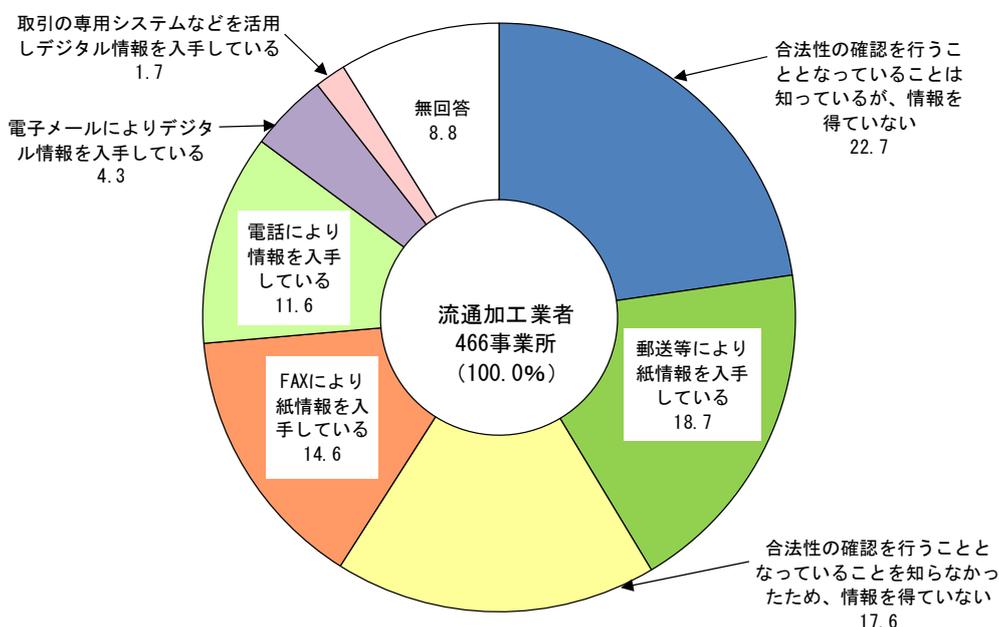
図 16 森林認証材を取り扱う際に必要な CoC 認証の取得にあたり想定される障害 (複数回答)



(8) 購入先等からの合法性の確認に必要な情報について最も利用している入手方法

購入先等からの合法性の確認に必要な情報について最も利用している入手方法については、「合法性の確認を行うこととなっていることは知っているが、情報を得ていない」と回答した割合が 22.7%と最も高く、次いで「郵送等により紙情報を入手している」(18.7%)、「合法性の確認を行うこととなっていることを知らなかったため、情報を得ていない」(17.6%)の順であった。(詳細は、統計表 46、47 ページ)

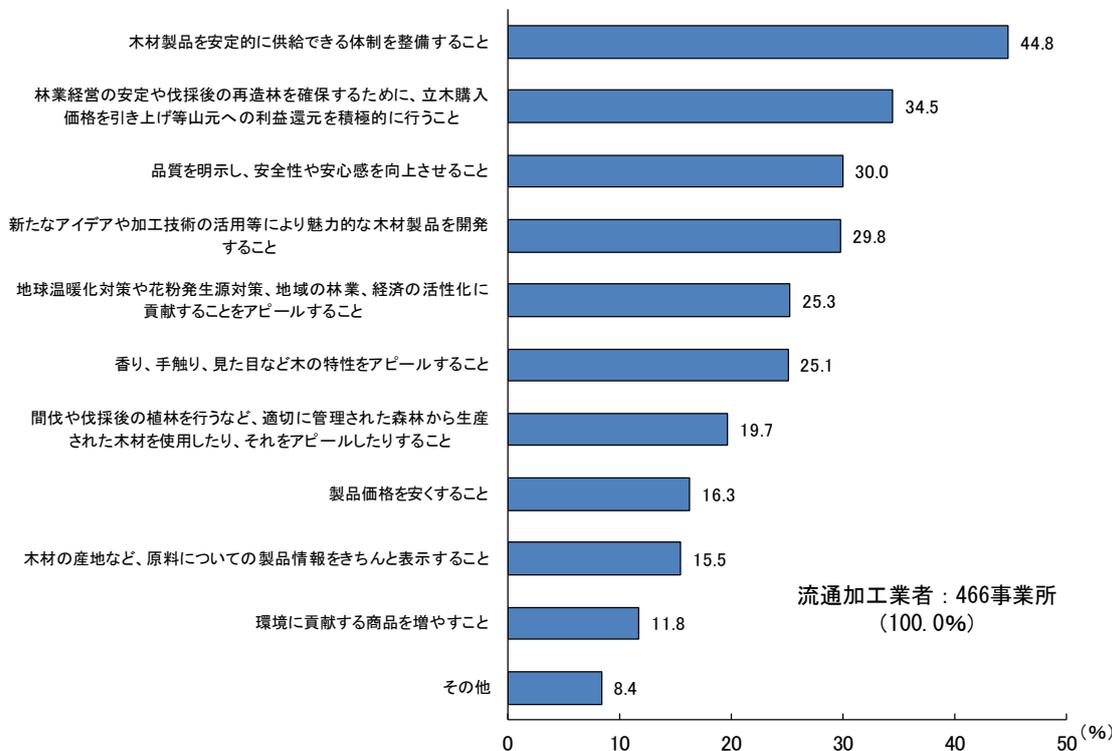
図 17 購入先等からの合法性の確認に必要な情報について最も利用している入手方法



(9) 木材の利用拡大のために必要だと思われる取組

木材の利用拡大のために必要だと思われる取組については、「木材製品を安定的に供給できる体制を整備すること」と回答した割合が44.8%と最も高く、次いで「林業経営の安定や伐採後の再造林を確保するために、立木購入価格を引き上げ等山元への利益還元を積極的に行うこと」(34.5%)、「品質を明示し、安全性や安心感を向上させること」(30.0%)の順であった。(詳細は、統計表48、49ページ)

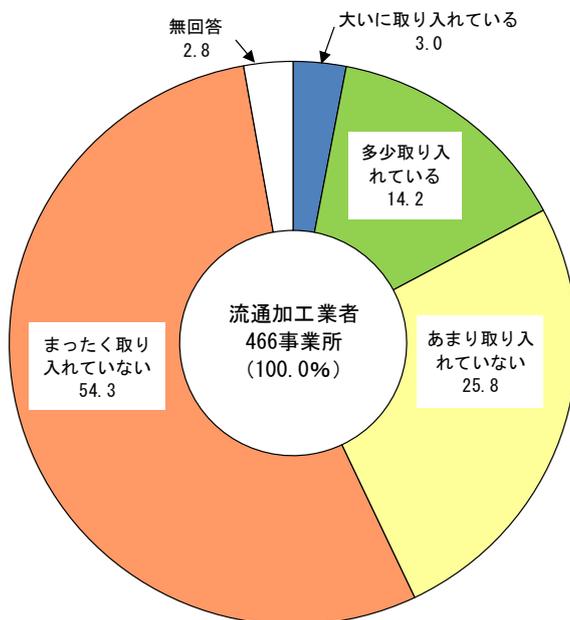
図18 木材の利用拡大のために必要だと思われる取組(複数回答)



(10) 業務の効率化を図るためのICT技術の取り入れ状況

業務の効率化を図るためのICT技術の取り入れ状況については、「まったく取り入れていない」と回答した割合が54.3%と最も高く、次いで「あまり取り入れていない」(25.8%)、「多少取り入れている」(14.2%)の順であった。(詳細は、統計表50、51ページ)

図19 業務の効率化を図るためのICT技術の取り入れ状況

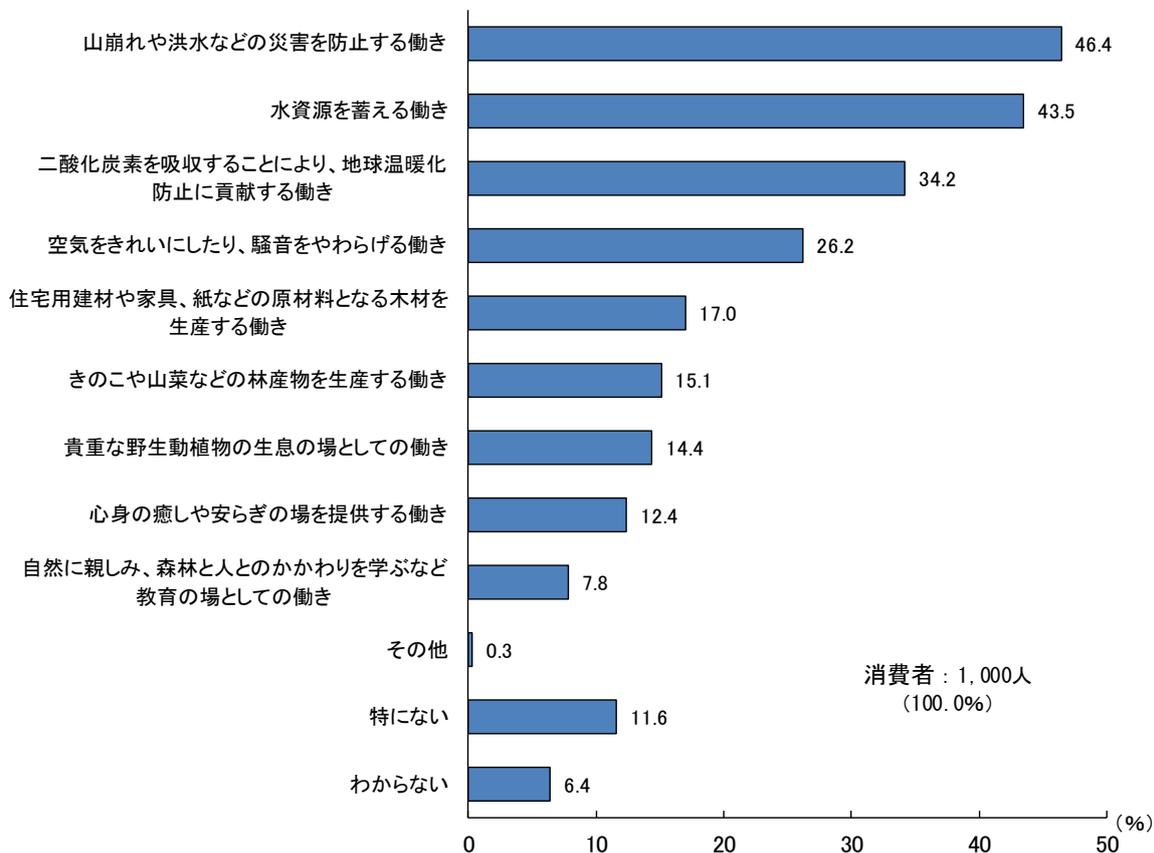


### 3 消費者

#### (1) 今後、期待する森林の働き

今後、期待する森林の働きについては、「山崩れや洪水などの災害を防止する働き」と回答した割合が46.4%と最も高く、次いで「水資源を蓄える働き」（43.5%）、「二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き」（34.2%）の順であった。（詳細は、統計表 56、57 ページ）

図 20 今後、期待する森林の働き（3つまで回答）



(2) 過去1年ぐらいの間に森林や木材に関わることで経験した活動

過去1年ぐらいの間に森林や木材に関わることで経験した活動の有無については、「活動したことがある」は24.3%、「特になし」は70.9%であった。

また、活動したことがあると回答した者において、経験した活動内容について、「インターネット、書籍等の媒体で、森林に関する情報を入手した」と回答した割合が35.0%と最も高く、次いで「木の製品を積極的に購入・入手した」(25.9%)、「インターネット、書籍等の媒体で、林材に関する情報を入手した」(20.2%)の順であった。

図 21 過去1年ぐらいの間に森林や木材に関わることで経験した活動の有無

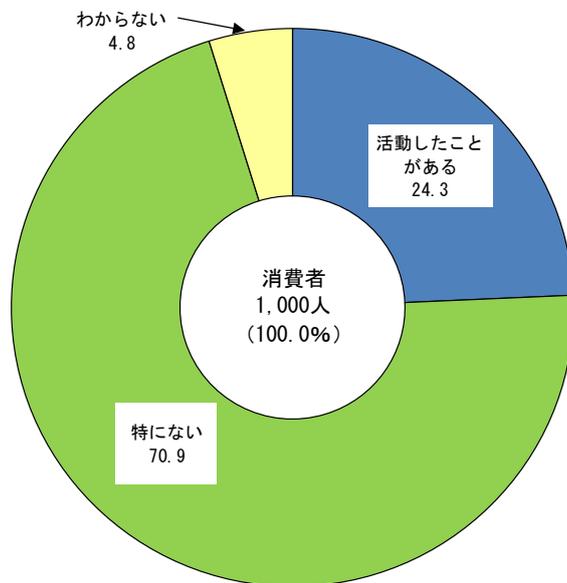


図 22 過去1年ぐらいの間に森林や木材に関わることで経験した活動があると回答した者における活動内容(複数回答)

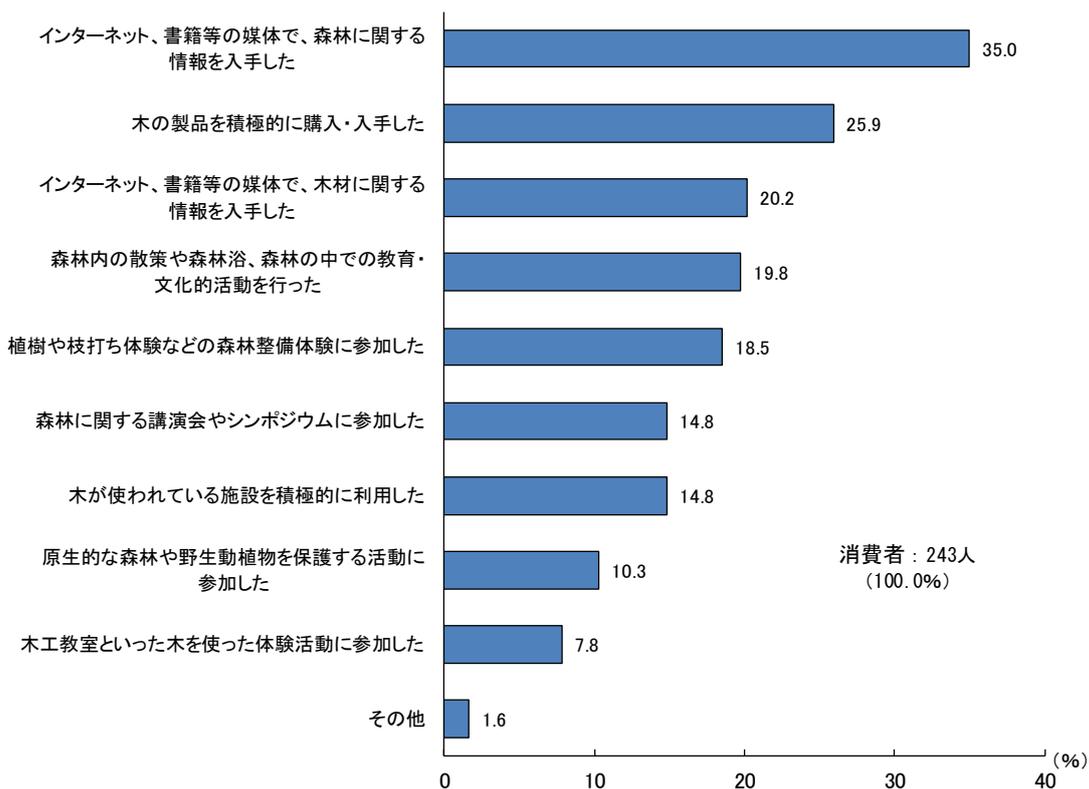


表 過去1年ぐらいの間に森林や木材に関わることで経験した活動の構成割合

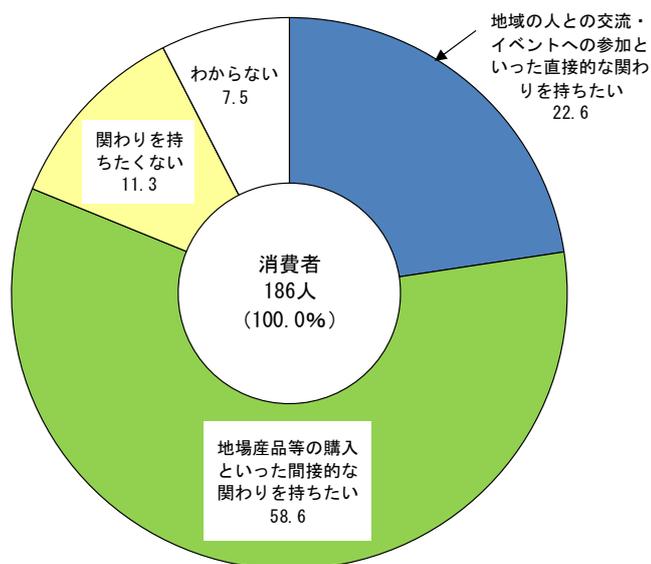
区分	回答者数 (人)	活動したことがある										特になし	無回答	
		小計	インターネット、書籍等の媒体で、森林に関する情報を入手した	木の製品を積極的に購入・入手した	インターネット、書籍等の媒体で、木材に関する情報を入手した	森林内の散策や森林浴、森林の中での教育・文化的活動を行った	植樹や枝打ち体験などの森林整備体験に参加した	森林に関する講演会やシンポジウムに参加した	木が使われている施設を積極的に利用した	原生的な森林や野生動植物を保護する活動に参加した	木工教室といった木を使った体験活動に参加した			その他
消費者	1,000	24.3 (100.0)	(35.0)	(25.9)	(20.2)	(19.8)	(18.5)	(14.8)	(14.8)	(10.3)	(7.8)	(1.6)	70.9	4.8

注：（）内の値は、図21において「活動したことがある」と回答した者（243名）が経験した活動の構成割合である。

### (3) ボランティア活動以外でも継続的に地域への関わりを持ちたいか

次の世代に森を残すための森林づくりのボランティア活動へ参加したいと回答した者において、ボランティア活動以外でも継続的に地域への関わりを持ちたいかについては、「地場産品等の購入といった間接的な関わりを持ちたい」と回答した割合が58.6%と最も高く、次いで「地域の人との交流・イベントへの参加といった直接的な関わりを持ちたい」（22.6%）、「関わりを持ちたくない」（11.3%）の順であった。（詳細は、統計表60、61ページ）

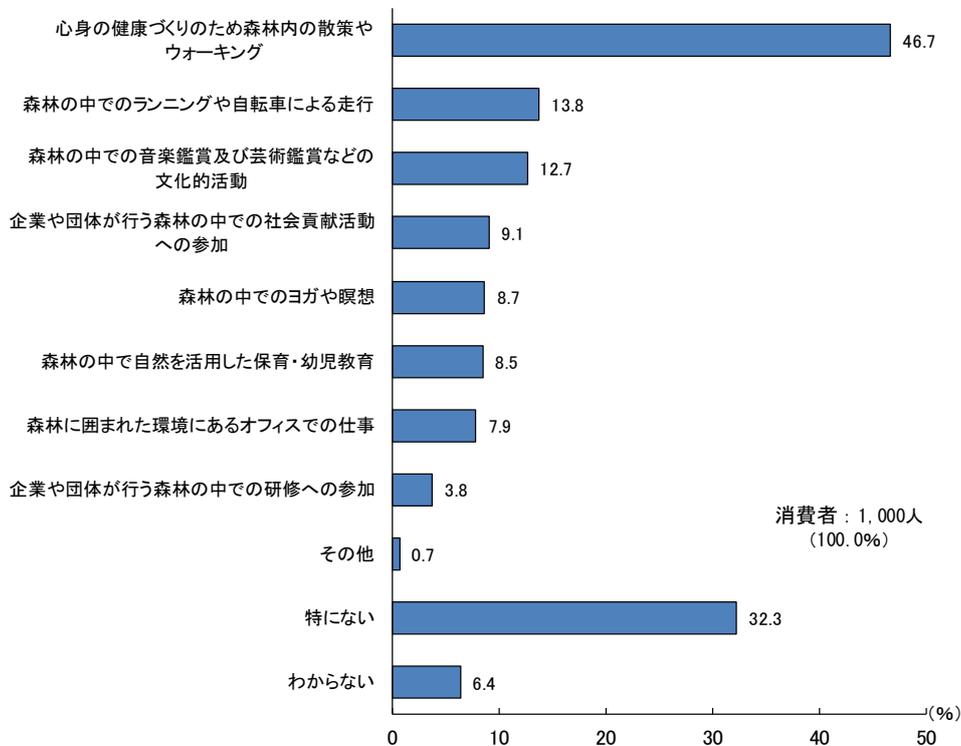
図23 ボランティア活動以外でも継続的に地域への関わりを持ちたいか



(4) 日常生活の中で森林で行いたいこと

日常生活の中で森林で行いたいことについては、「心身の健康づくりのため森林内の散策やウォーキング」と回答した割合が46.7%と最も高く、次いで「森林の中でのランニングや自転車による走行」（13.8%）、「森林の中での音楽鑑賞及び芸術鑑賞などの文化的活動」（12.7%）の順であった。（詳細は、統計表 60、61 ページ）

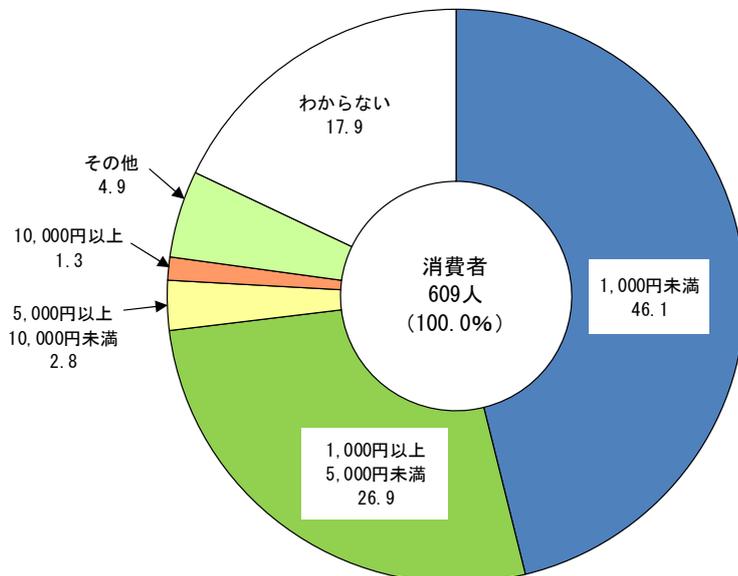
図 24 日常生活の中で森林で行いたいこと（複数回答）



(5) 森林空間利用におけるプログラムを受けるために支払ってよいと思う料金

日常生活の中で森林で行いたいことがあると回答した者において、森林空間利用におけるプログラムを受けるために支払ってよいと思う料金については、「1,000円未満」と回答した割合が46.1%と最も高く、次いで「1,000円以上5,000円未満」（26.9%）であった。（詳細は、統計表 62、63 ページ）

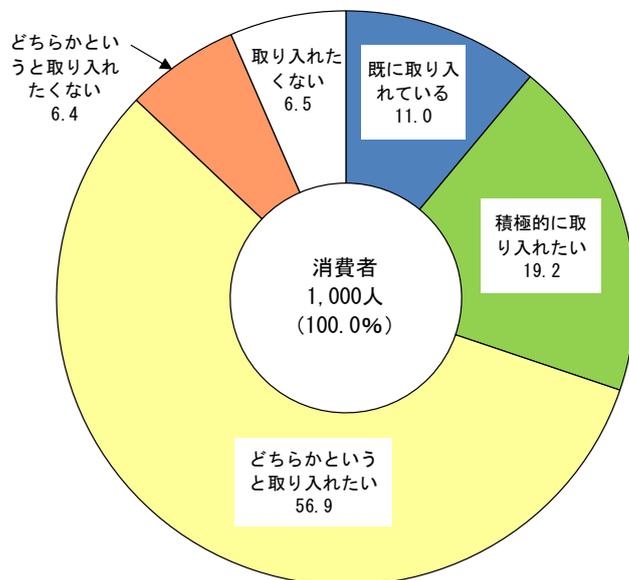
図 25 森林空間利用におけるプログラムを受けるために支払ってよいと思う料金



(6) 身の回りの生活用品などに木材製品を取り入れたいか

身の回りの生活用品などに木材製品を取り入れたいかについては、「どちらかというを取り入れたい」と回答した割合が56.9%と最も高く、次いで「積極的に取り入れたい」(19.2%)、「既に取り入れている」(11.0%)の順であった。(詳細は、統計表62、63ページ)

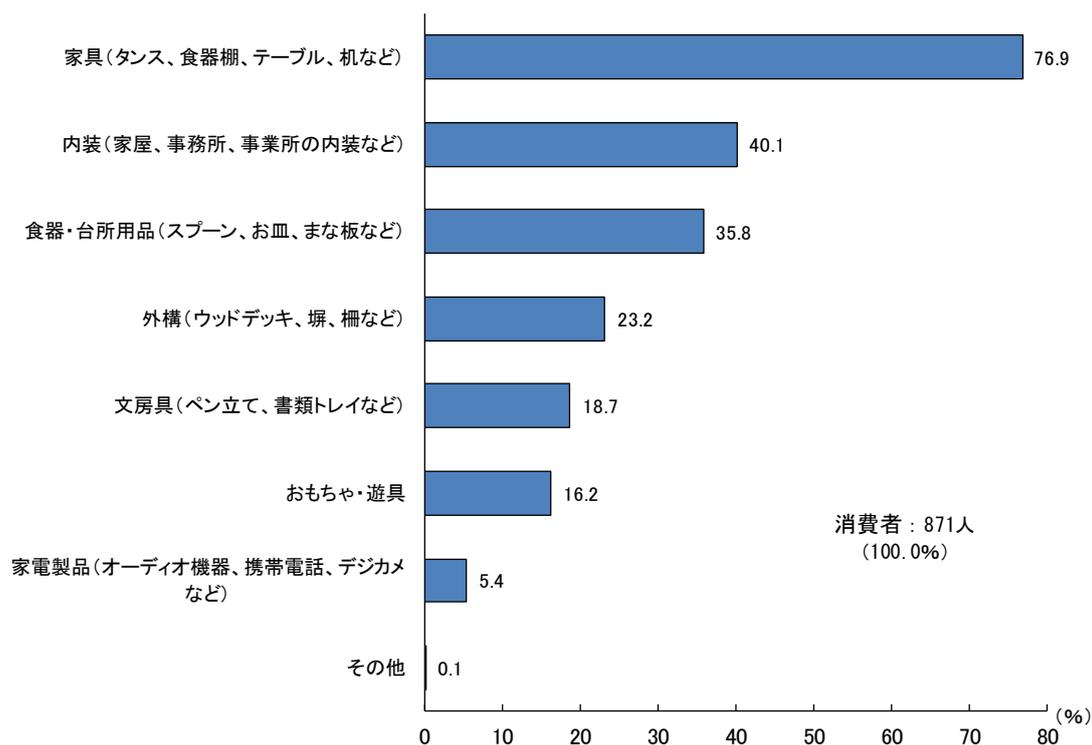
図26 身の回りの生活用品などに木材製品を取り入れたいか



(7) 身の回りに取り入れている又は取り入れたい木材製品

身の回りに取り入れたいと回答した者において、身の回りに取り入れている又は取り入れたい木材製品については、「家具(タンス、食器棚、テーブル、机など)」と回答した割合が76.9%と最も高く、次いで「内装(家屋、事務所、事業所の内装など)」(40.1%)、「食器・台所用品(スプーン、お皿、まな板など)」(35.8%)の順であった。(詳細は、統計表62、63ページ)

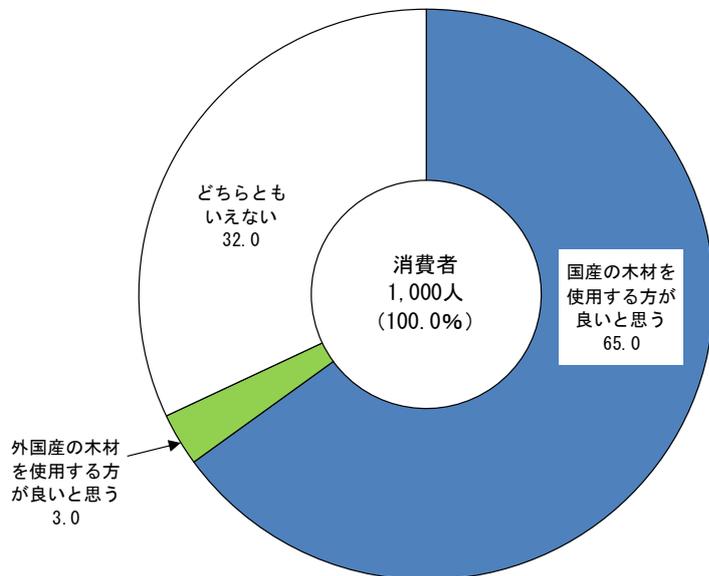
図27 身の回りに取り入れている又は取り入れたい木材製品(複数回答)



(8) 国産の木材と外国産の木材のどちらを使用する方が良いと思うか

国産の木材と外国産の木材のどちらを使用する方が良いと思うかについては、「国産の木材を使用する方が良いと思う」と回答した割合が65.0%と最も高く、次いで「どちらともいえない」(32.0%)、「外国産の木材を使用する方が良いと思う」(3.0%)の順であった。(詳細は、統計表64ページ)

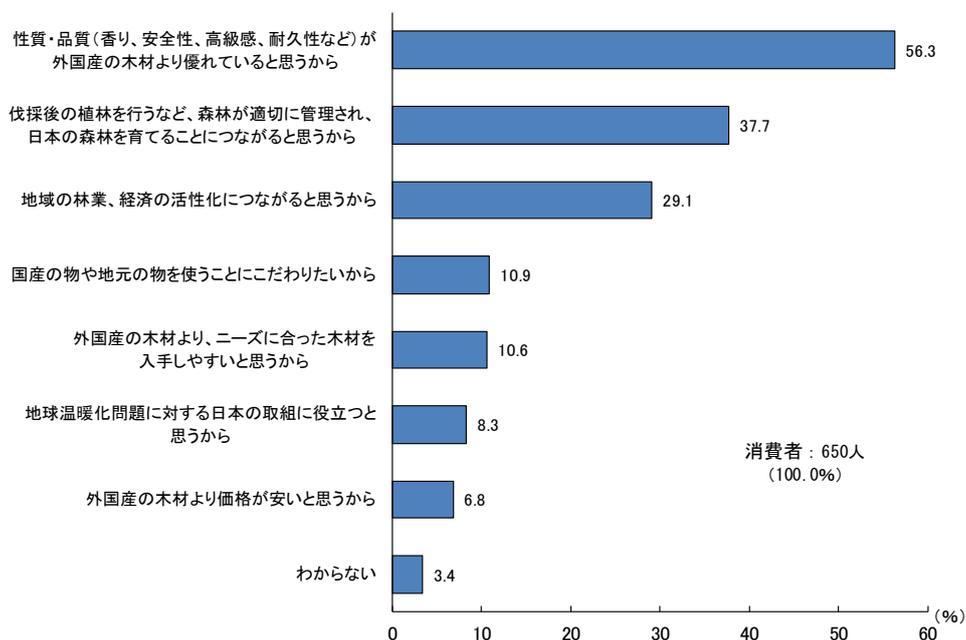
図28 国産の木材と外国産の木材のどちらを使用する方が良いと思うか



(9) 国産の木材を取り入れた方が良いと思う理由

国産材を使用する方が良いと思うと回答した者において、その理由については、「性質・品質(香り、安全性、高級感、耐久性など)が外国産の木材より優れていると思うから」と回答した割合が56.3%と最も高く、次いで「伐採後の植林を行うなど、森林が適切に管理され、日本の森林を育てることにつながると思うから」(37.7%)、「地域の林業、経済の活性化につながると思うから」(29.1%)の順であった。(詳細は、統計表64、65ページ)

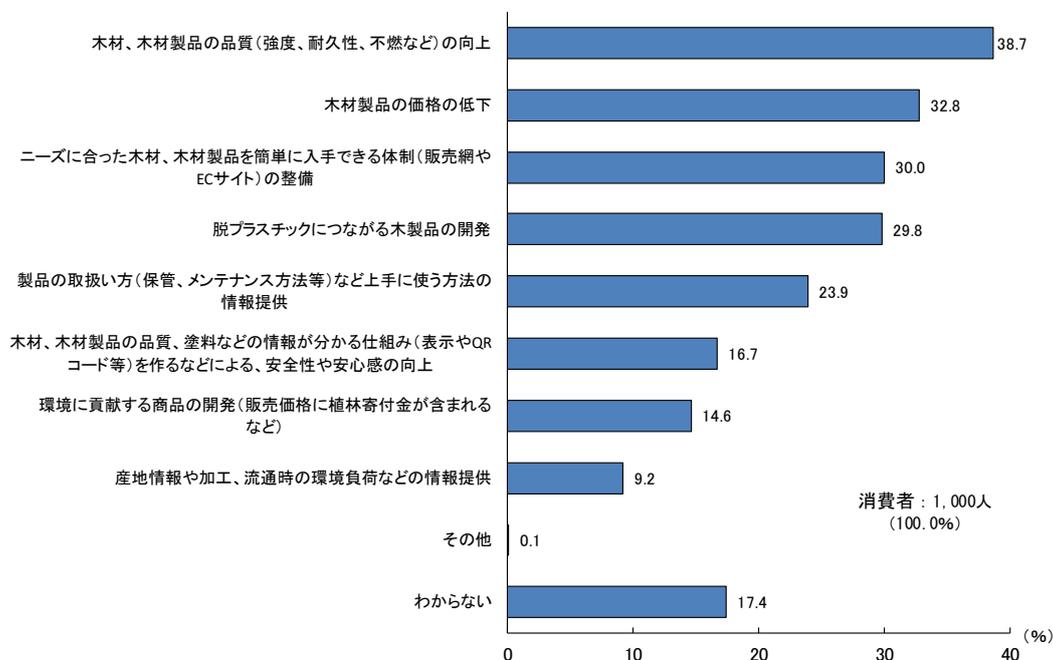
図29 国産の木材を取り入れた方が良いと思う理由(2つまで回答)



### (10) 普段の生活に木材製品を取り入れるために必要な改善・開発

普段の生活に木材製品を取り入れるために必要な改善・開発については、「木材、木材製品の品質（強度、耐久性、不燃など）の向上」と回答した割合が38.7%と最も高く、次いで「木材製品の価格の低下」（32.8%）、「ニーズに合った木材、木材製品を簡単に入手できる体制（販売網やECサイト）の整備」（30.0%）の順であった。（詳細は、統計表 66、67 ページ）

図 30 普段の生活に木材製品を取り入れるために必要な改善・開発（複数回答）



# 【 統 計 表 】

## 統計表一覧

ページ

### 1 林業者

(1) 保有している森林の手入れ状況	20
(2) 必要最小限の手入れまでできていない又は手入れをしていない主な理由（複数回答）	20
(3) 現在の林業経営の状況	20
(4) 今後、森林の保有面積、雇用人数、機械台数等の経営規模をどうしていきたいか	22
(5) 今後の保有する森林の取扱方針	22
(6) 保有している山林の今後5年間に主伐を実施する予定及び主伐を予定する場合の更新予定	22
(7) 主伐や再造林を行わない理由（複数回答）	24
(8) 保有山林における現在の路網の密度	24
(9) 今後、目指す路網密度	24
(10) 今後の機械の導入希望（2つまで回答）	26
(11) 現在、森林の境界の明確化が進まない理由（複数回答）	26
(12) 「森林経営計画」の作成を進めるために必要な取組・支援（複数回答）	26
(13) 伐採業者や森林組合などに期待する役割（複数回答）	28
(14) 木材需要に応じた原木の安定供給のために効果的だと思われる取組（複数回答）	28
(15) 森林認証の取得の取組意向	28
(16) 森林認証の取得の障害（複数回答）	30
(17) 業務の効率化を図るためのICT技術の取り入れ状況	30
(18) ICT技術を導入している業務（複数回答）	30
(19) 業務にICT技術を導入されたことによる効果（複数回答）	32
(20) 今後、職場にICT技術を導入したいか	32
(21) 今後、ICT技術の導入を行いたい業務（複数回答）	32
(22) ICT技術を取り入れていない理由（複数回答）	34
(23) 単語・マークの認知度	36

### 2 流通加工業者

(1) 出力規模	38
(2) 国産材の使用状況	38
(3) 外国産材を使用する理由（複数回答）	38
(4) 製品、商品を取り扱う際の主な問題（複数回答）	40
(5) 製品、商品の原材料として国産材の利用を拡大することに対する考え	40
(6) 国産材の利用を拡大することは重要であると思う理由（複数回答）	40
(7) 国産材の利用を拡大するために必要な取組（複数回答）	42
(8) 調達を希望する素材	42
(9) 原木の安定調達を図るために必要と思われる取組（複数回答）	42
(10) 保有している森林の面積	44
(11) 保有している森林の取り扱い予定	44
(12) 森林認証材を取り扱いたいと思うか	44
(13) 森林認証材を取り扱う際に必要なCoC認証の取得にあたり想定される障害（複数回答）	46

(14)	購入先等からの合法性の確認に必要な情報について最も利用している入手方法	46
(15)	木材の利用拡大のために必要だと思われる取組（複数回答）	48
(16)	木材の利用を拡大するために必要だと思われる行政のサポート（複数回答）	48
(17)	業務の効率化を図るためのICT技術の取り入れ状況	50
(18)	ICT技術を導入している業務（複数回答）	50
(19)	業務にICT技術を導入されたことによる効果（複数回答）	50
(20)	今後、職場にICT技術を導入したいか	52
(21)	今後、ICT技術の導入を行いたい業務（複数回答）	52
(22)	ICT技術を導入したくない理由（複数回答）	52
(23)	単語・マークの認知度	54

### 3 消費者

(1)	今後、期待する森林の働き（3つまで回答）	56
(2)	今後、主体となって積極的に森林の整備を進めるべきだと思う者（複数回答）	56
(3)	過去1年ぐらいの間に、森林や木材と関わることで経験した活動（複数回答）	58
(4)	次の世代に森林を残すための森林づくりのボランティア活動への参加希望	58
(5)	ボランティア活動以外でも継続的に地域への関わりを持ちたいか	60
(6)	日常生活の中で森林で行いたいこと（複数回答）	60
(7)	森林空間利用におけるプログラムを受けるために支払ってよいと思う料金	62
(8)	身の回りの生活用品などに木材製品を取り入れたいか	62
(9)	身の回りを取り入れている又は取り入れたい木材製品（複数回答）	62
(10)	木材を取り入れたいと思う理由（複数回答）	64
(11)	国産の木材と外国産の木材のどちらを使用する方が良いと思うか	64
(12)	国産の木材を取り入れた方が良いと思う理由（2つまで回答）	64
(13)	外国産の木材を取り入れた方が良いと思う理由（2つまで回答）	66
(14)	普段の生活に木材製品を取り入れるために必要な改善・開発（複数回答）	66
(15)	単語・マークの認知度	68

#### 利用上の注意

- 1 回答者数は、各設問（各区分）の有効回答者数である。
- 2 回答率は、各設問（各区分）の回答者数計を100.0%とする割合である。
- 3 表示単位未満を四捨五入したため、内訳の計が100.0%とならない場合がある。
- 4 統計表に用いた記号「—」は、該当する選択肢を選んだ回答者がいないことを表す。
- 5 この統計表に掲載された数値を他に転載する場合には、「食料・農林水産業・農山漁村に関する意識・意向調査 森林資源の循環利用に関する意識・意向調査結果」（農林水産省）による旨を記載してください。

# 1 林業者

## (1) 保有している森林の手入れ状況

(山林を保有している者のみ回答)

区分	回答者数	十分に手入れをしている	十分ではないものの、必要最小限の手入れはしている	手入れはしているものの、必要最小限の手入れまではできていない	手入れをしていない
計 (1)	経営体 663	5.4%	39.7%	27.5%	25.5%
保有山林面積規模別					
山林を保有していない (2)	-	-	-	-	-
5 ha 未満 (3)	186	4.3%	33.9%	26.9%	30.6%
5 ~ 10ha (4)	166	3.0%	39.2%	26.5%	29.5%
10 ~ 50ha (5)	226	5.8%	42.9%	31.0%	20.4%
50 ~ 100ha (6)	44	11.4%	47.7%	18.2%	22.7%
100ha 以上 (7)	41	12.2%	41.5%	24.4%	17.1%
不明 (8)	-	-	-	-	-

## (2) 必要最小限の手入れまでできていない又は手入れをしていない主な理由 (複数回答)

((1)で「手入れはしているものの、必要最小限の手入れまでできていない」、「手入れをしていない」と回答した者のみ回答)

区分	回答者数	手入れに要する費用を負担できないため	手入れをする労働力が不足しているため	高性能林業機械の導入や路網の整備が遅れているため	国や地方自治体による支援が不十分のため
計 (1)	経営体 351	52.4%	63.5%	10.5%	22.2%
保有山林面積規模別					
山林を保有していない (2)	-	-	-	-	-
5 ha 未満 (3)	107	53.3%	60.7%	9.3%	16.8%
5 ~ 10ha (4)	93	46.2%	68.8%	9.7%	16.1%
10 ~ 50ha (5)	116	60.3%	61.2%	9.5%	30.2%
50 ~ 100ha (6)	18	38.9%	61.1%	11.1%	22.2%
100ha 以上 (7)	17	41.2%	70.6%	29.4%	35.3%
不明 (8)	-	-	-	-	-

## (3) 現在の林業経営の状況

区分	回答者数	毎年木材販売収入があり、主な収入は木材販売収入である	毎年木材販売収入があるが、主な収入は木材販売収入以外である	毎年の木材販売収入はないが、必要な間伐などの保育作業を実施している	毎年の木材販売収入はなく、保育作業も実施していない
計 (1)	経営体 690	2.0%	4.8%	34.1%	54.2%
保有山林面積規模別					
山林を保有していない (2)	17	11.8%	11.8%	23.5%	52.9%
5 ha 未満 (3)	186	-	1.6%	29.6%	62.9%
5 ~ 10ha (4)	166	0.6%	1.2%	31.9%	60.2%
10 ~ 50ha (5)	226	1.8%	5.8%	39.4%	49.6%
50 ~ 100ha (6)	44	9.1%	2.3%	52.3%	31.8%
100ha 以上 (7)	41	7.3%	26.8%	22.0%	41.5%
不明 (8)	10	-	10.0%	20.0%	50.0%

無回答	
2.0	(1)
-	(2)
4.3	(3)
1.8	(4)
-	(5)
-	(6)
4.9	(7)
-	(8)

森林に対して興味がないため	その他	
18.2	9.7	(1)
-	-	(2)
18.7	7.5	(3)
23.7	4.3	(4)
14.7	11.2	(5)
11.1	22.2	(6)
17.6	29.4	(7)
-	-	(8)

無回答	
4.9	(1)
-	(2)
5.9	(3)
6.0	(4)
3.5	(5)
4.5	(6)
2.4	(7)
20.0	(8)

(4) 今後、森林の保有面積、雇用人数、機械台数等の経営規模をどうしていきたいか

区分	回答者数	経営規模を拡大したい	現状の経営規模を維持したい	経営規模を縮小したい	林業経営をやめたい
計 (1)	経営体 690	% 2.5	% 52.5	% 16.7	% 20.9
保有山林面積規模別					
山林を保有していない (2)	17	29.4	23.5	-	35.3
5 ha 未満 (3)	186	0.5	44.1	21.0	26.9
5 ~ 10ha (4)	166	1.8	51.2	18.1	22.9
10 ~ 50ha (5)	226	1.3	62.4	16.4	14.6
50 ~ 100ha (6)	44	6.8	63.6	9.1	13.6
100ha 以上 (7)	41	4.9	53.7	7.3	12.2
不明 (8)	10	-	-	20.0	60.0

(5) 今後の保有する森林の取扱方針

((4)で「経営規模を縮小したい」、「林業経営をやめたい」と回答した者のみ回答)

区分	回答者数	手放すつもりはないが、管理は委託したい	手放すつもりもないが、管理の委託等もしない	価値がつくのであれば、売却したい	売却ができなくても、費用がかからず、無償で手放せるなら寄附したい
計 (1)	経営体 259	% 15.1	% 25.5	% 46.7	% 6.9
保有山林面積規模別					
山林を保有していない (2)	6	-	-	-	-
5 ha 未満 (3)	89	18.0	31.5	40.4	5.6
5 ~ 10ha (4)	68	11.8	20.6	57.4	8.8
10 ~ 50ha (5)	70	18.6	24.3	51.4	4.3
50 ~ 100ha (6)	10	10.0	20.0	40.0	20.0
100ha 以上 (7)	8	-	37.5	50.0	-
不明 (8)	8	12.5	25.0	25.0	25.0

(6) 保有している山林の今後5年間に主伐を実施する予定及び主伐を予定する場合の更新予定

(山林を保有している者のみ回答)

区分	回答者数	主伐を行い、主伐後は主に自ら再生林を行いたい	主伐を行い、主伐後は主に森林組合等に委託して再生林を行いたい	主伐を行い、主伐後に再生林を行うつもりはない	伐期に達した山林はあるが、主伐を実施する予定はない
計 (1)	経営体 663	% 3.5	% 19.8	% 6.3	% 53.4
保有山林面積規模別					
山林を保有していない (2)	-	-	-	-	-
5 ha 未満 (3)	186	1.1	16.1	6.5	52.2
5 ~ 10ha (4)	166	4.2	15.1	5.4	57.2
10 ~ 50ha (5)	226	2.7	21.7	7.5	55.8
50 ~ 100ha (6)	44	6.8	31.8	2.3	47.7
100ha 以上 (7)	41	12.2	31.7	7.3	36.6
不明 (8)	-	-	-	-	-

無回答	
	%
	7.5 (1)
	11.8 (2)
	7.5 (3)
	6.0 (4)
	5.3 (5)
	6.8 (6)
	22.0 (7)
	20.0 (8)

売却や寄附ができず、費用を支払うことになってでも手放したい	森林を保有していない	無回答	
			%
			0.4 2.7 2.7 (1)
			- 100.0 - (2)
			1.1 - 3.4 (3)
			- 1.5 - (4)
			- - 1.4 (5)
			- - 10.0 (6)
			- - 12.5 (7)
			- - 12.5 (8)

伐期に達した山林がない	無回答	
		%
		12.4 4.7 (1)
		- - (2)
		18.3 5.9 (3)
		12.0 6.0 (4)
		9.7 2.7 (5)
		4.5 6.8 (6)
		9.8 2.4 (7)
		- - (8)

(7) 主伐や再造林を行わない理由（複数回答）

（(6)で「主伐を行い、主伐後に再造林を行うつもりはない」、「伐期に達した山林はあるが、主伐を実施する予定はない」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	主伐を行わず、間伐を繰り返す予定であるため	路網整備が進んでいないため	森林経営に興味がないため	主伐の収入で、主伐又は再造林費用をまかなえないため
計 (1)	経営体 396	24.2 %	27.0 %	18.4 %	56.6 %
保有山林面積規模別					
山林を保有していない (2)	-	-	-	-	-
5 ha 未満 (3)	109	17.4	25.7	30.3	56.0
5 ~ 10ha (4)	104	24.0	26.9	16.3	58.7
10 ~ 50ha (5)	143	28.0	28.0	14.0	55.9
50 ~ 100ha (6)	22	31.8	27.3	9.1	54.5
100ha 以上 (7)	18	27.8	27.8	5.6	55.6
不明 (8)	-	-	-	-	-

(8) 保有山林における現在の路網の密度

（(4)で「経営規模を拡大したい」、「現在の経営規模を維持したい」、「経営規模を縮小したい」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	100m/ha以上	50m/ha以上 100m/ha未満	30m/ha以上 50m/ha未満	30m/ha未満
計 (1)	経営体 494	16.8 %	19.6 %	17.2 %	36.4 %
保有山林面積規模別					
山林を保有していない (2)	9	11.1	11.1	-	66.7
5 ha 未満 (3)	122	19.7	13.1	11.5	41.0
5 ~ 10ha (4)	118	11.0	15.3	21.2	41.5
10 ~ 50ha (5)	181	17.7	24.3	18.2	32.0
50 ~ 100ha (6)	35	17.1	42.9	11.4	22.9
100ha 以上 (7)	27	25.9	11.1	33.3	29.6
不明 (8)	2	-	-	-	50.0

(9) 今後、目指す路網密度

区分	回答者数	150m/ha以上	100m/ha以上 150m/ha未満	50m/ha以上 100m/ha未満	30m/ha以上 50m/ha未満
計 (1)	経営体 690	14.3 %	18.6 %	19.3 %	10.1 %
保有山林面積規模別					
山林を保有していない (2)	17	11.8	-	11.8	5.9
5 ha 未満 (3)	186	11.3	16.1	16.7	8.6
5 ~ 10ha (4)	166	9.6	16.3	22.9	10.8
10 ~ 50ha (5)	226	17.7	23.5	19.9	11.9
50 ~ 100ha (6)	44	18.2	25.0	20.5	6.8
100ha 以上 (7)	41	24.4	17.1	19.5	9.8
不明 (8)	10	20.0	-	-	10.0

主伐または再造林を委託できる業者や森林組合がないため	再造林しても将来の収入に不安があるため	再造林のための苗木を準備できないため	再造林後のシカ等による獣害を避けなため	主伐後は、積極的に天然更新による広葉樹林化を進めたいため	その他	
3.0	33.6	3.8	16.9	8.8	5.8	(1)
-	-	-	-	-	-	(2)
4.6	32.1	3.7	14.7	11.0	2.8	(3)
2.9	35.6	2.9	10.6	5.8	4.8	(4)
2.1	29.4	4.2	19.6	8.4	8.4	(5)
-	50.0	4.5	18.2	4.5	13.6	(6)
5.6	44.4	5.6	44.4	22.2	-	(7)
-	-	-	-	-	-	(8)

無回答	
9.9	(1)
11.1	(2)
14.8	(3)
11.0	(4)
7.7	(5)
5.7	(6)
-	(7)
50.0	(8)

30m/ha未満	無回答	
17.5	20.1	(1)
41.2	29.4	(2)
22.6	24.7	(3)
19.3	21.1	(4)
12.4	14.6	(5)
13.6	15.9	(6)
12.2	17.1	(7)
10.0	60.0	(8)

## (10) 今後の機械の導入希望（2つまで回答）

区分	回答者数	多少高価でも大型で処理能力の高い車両系機械を導入したい	多少処理能力が低くても小型で安価な車両系機械を導入したい	架線系機械を導入したい	機械はなるべく持たず、伐採などは委託などにより対応したい
計	経営体 690	% 1.6	% 7.5	% 1.6	% 62.0
保有山林面積規模別					
山林を保有していない	(2) 17	11.8	23.5	5.9	17.6
5 ha 未満	(3) 186	0.5	4.3	-	63.4
5 ~ 10ha	(4) 166	1.2	6.6	1.2	62.0
10 ~ 50ha	(5) 226	0.9	9.3	1.8	65.0
50 ~ 100ha	(6) 44	4.5	13.6	4.5	65.9
100ha 以上	(7) 41	4.9	4.9	4.9	61.0
不明	(8) -	-	-	-	-

## (11) 現在、森林の境界の明確化が進まない理由（複数回答）

区分	回答者数	境界を隣接する所有者がわからないから	境界を隣接する所有者の協力が得られないから	境界を明確化するのに費用がかかるから	境界を明確化する方法がわからないから
計	経営体 690	% 26.8	% 11.9	% 27.2	% 12.0
保有山林面積規模別					
山林を保有していない	(2) 17	29.4	11.8	47.1	5.9
5 ha 未満	(3) 186	29.6	11.3	25.8	10.2
5 ~ 10ha	(4) 166	25.9	10.2	23.5	15.1
10 ~ 50ha	(5) 226	27.9	10.2	29.6	10.6
50 ~ 100ha	(6) 44	18.2	25.0	34.1	18.2
100ha 以上	(7) 41	24.4	17.1	19.5	7.3
不明	(8) 10	10.0	10.0	30.0	30.0

## (12) 「森林経営計画」の作成を進めるために必要な取組・支援（複数回答）

区分	回答者数	森林経営計画の作成を支援する人材の育成	森林経営計画に関する森林所有者への説明会等の開催などの周知・啓発	森林等の情報（樹種、材積、図面、周辺の所有者等）の林業事業者への提供	経営を安心して委託できる林業事業者の森林所有者への紹介
計	経営体 690	% 29.9	% 31.7	% 17.8	% 23.5
保有山林面積規模別					
山林を保有していない	(2) 17	58.8	41.2	11.8	11.8
5 ha 未満	(3) 186	30.6	28.5	12.4	21.5
5 ~ 10ha	(4) 166	25.3	33.1	20.5	27.7
10 ~ 50ha	(5) 226	27.0	33.6	18.6	22.1
50 ~ 100ha	(6) 44	38.6	34.1	31.8	25.0
100ha 以上	(7) 41	41.5	29.3	19.5	29.3
不明	(8) 10	20.0	10.0	-	10.0

注：「森林経営計画」とは、森林施業の集約化を進めるため、面的なまとまりをもった森林を対象とするものである。

既に導入済みであり、新たな導入予定は無い	その他	
3.6	17.7	(1)
5.9	29.4	(2)
2.2	21.0	(3)
4.2	18.1	(4)
3.5	15.0	(5)
4.5	9.1	(6)
7.3	17.1	(7)
-	-	(8)

市町村等による地籍調査が進まないから	高齢のため現地の立会ができないから	相続等により森林は保有しているが、自分の山がどこかわからない人が多いから	効率的に境界を明確化するための地域組織等がないから	その他	
23.2	32.0	54.2	20.4	12.0	(1)
5.9	64.7	52.9	35.3	5.9	(2)
21.5	29.0	52.2	19.4	13.4	(3)
19.3	24.7	51.2	21.1	15.1	(4)
26.1	36.3	58.8	19.9	8.8	(5)
29.5	29.5	56.8	15.9	11.4	(6)
26.8	39.0	46.3	22.0	17.1	(7)
40.0	40.0	60.0	30.0	-	(8)

経営委託に関する具体的な費用等の情報提供	計画の作成に要する所有者や境界の確定、合意形成等の経費への支援の拡充	森林経営計画の作成された森林に対する補助金や税制優遇の拡充	その他	
28.4	29.7	51.9	10.7	(1)
23.5	23.5	41.2	5.9	(2)
32.3	32.3	42.5	11.8	(3)
31.3	30.7	51.2	12.0	(4)
25.2	31.4	59.3	8.4	(5)
31.8	22.7	59.1	9.1	(6)
19.5	17.1	56.1	17.1	(7)
10.0	20.0	40.0	10.0	(8)

## (13) 伐採業者や森林組合などに期待する役割（複数回答）

区 分	回答者数	植付や間伐等の 個々の作業を引き 受けること	長期にわたり、各種 の作業を一括して 引き受けること	森林にかかる計画 策定から管理経営 までを引き受けるこ と	森林所有者と共同 で森林経営計画を 作成すること
		経営体 %	%	%	%
計 (1)	690	37.8	37.2	22.3	29.6
保有山林面積規模別					
山林を保有していない (2)	17	35.3	41.2	23.5	17.6
5 ha 未満 (3)	186	33.9	35.5	21.0	24.7
5 ～ 10ha (4)	166	42.2	35.5	21.7	28.3
10 ～ 50ha (5)	226	41.2	39.4	23.0	32.7
50 ～ 100ha (6)	44	36.4	43.2	27.3	38.6
100ha 以上 (7)	41	29.3	39.0	24.4	39.0
不明 (8)	10	10.0	10.0	10.0	10.0

## (14) 木材需要に応じた原木の安定供給のために効果的だと思われる取組（複数回答）

区 分	回答者数	複数の森林組合等 が連携し、広域的な 供給体制を確保す ること	複数の森林所有者 等が共同で森林経 営計画を作成す ること	素材生産業者や森 林組合を育成す ること	安定供給に取り組 む素材生産業者や 森林組合に生産を 委託すること
		経営体 %	%	%	%
計 (1)	690	41.4	17.8	28.8	32.0
保有山林面積規模別					
山林を保有していない (2)	17	23.5	29.4	41.2	29.4
5 ha 未満 (3)	186	37.6	20.4	26.9	28.0
5 ～ 10ha (4)	166	39.8	13.9	21.7	39.8
10 ～ 50ha (5)	226	45.6	19.0	31.9	30.5
50 ～ 100ha (6)	44	56.8	15.9	27.3	31.8
100ha 以上 (7)	41	36.6	12.2	46.3	29.3
不明 (8)	10	30.0	20.0	30.0	30.0

## (15) 森林認証の取得の取組意向

区 分	回答者数	森林認証を既に取 得している	森林認証を取得し たいと思う	森林認証を取得し たいと思わない	分からない
		経営体 %	%	%	%
計 (1)	690	2.8	8.4	25.7	57.5
保有山林面積規模別					
山林を保有していない (2)	17	5.9	5.9	11.8	58.8
5 ha 未満 (3)	186	0.5	4.3	25.3	62.4
5 ～ 10ha (4)	166	3.6	4.2	28.3	59.6
10 ～ 50ha (5)	226	2.7	12.4	27.0	53.1
50 ～ 100ha (6)	44	2.3	9.1	18.2	65.9
100ha 以上 (7)	41	9.8	19.5	24.4	41.5
不明 (8)	10	-	20.0	20.0	60.0

注：「森林認証」とは、適切な森林経営や持続可能な森林経営が行われている森林又は経営組織などを第三者機関が認証し、それらの森林から生産された木材・木材製品へラベルを貼り付けることにより、消費者の選択的な購買を通じて、持続可能な森林経営を支援する取り組みである。

計画の作成や作業に係る技術的助言又は情報提供を行うこと	森林の売渡しや貸付などの情報を発信すること	森林の管理経営だけでなく、森林の土地の所有権を含めて引き受けること	原木をとりまとめ、木材の有利な販売を行い、木材を高く販売すること	その他	特に期待する役割はない	
20.1	23.3	10.9	52.5	4.3	8.3	(1)
35.3	5.9	-	47.1	5.9	-	(2)
16.7	22.0	12.9	45.2	5.9	11.8	(3)
21.1	27.1	14.5	50.0	4.2	7.8	(4)
19.0	23.5	7.1	61.5	1.8	6.6	(5)
34.1	34.1	9.1	45.5	9.1	4.5	(6)
19.5	7.3	12.2	58.5	7.3	7.3	(7)
10.0	30.0	20.0	40.0	-	20.0	(8)

森林所有者や素材生産業者等と製材工場等が原木供給の協定を締結すること	素材生産業者や製材工場等が森林の所有を拡大すること	その他	
19.4	7.8	11.0	(1)
11.8	-	5.9	(2)
19.4	9.1	15.1	(3)
18.1	7.8	10.8	(4)
22.1	5.8	8.4	(5)
15.9	11.4	13.6	(6)
19.5	12.2	9.8	(7)
10.0	10.0	-	(8)

無回答	
5.7	(1)
17.6	(2)
7.5	(3)
4.2	(4)
4.9	(5)
4.5	(6)
4.9	(7)
-	(8)

## (16) 森林認証の取得の障害（複数回答）

区分	回答者数	森林の所有規模が小さく、取得しても十分に活用できないこと	取得時及びその後の維持に費用がかかること	取得する際の審査が手間であること	CoC認証を取得している製造・加工・流通業者が少ないこと
計	経営体 690	32.5	15.1	8.7	5.1
保有山林面積規模別					
山林を保有していない (2)	17	29.4	5.9	-	5.9
5 ha 未満 (3)	186	41.4	14.0	7.0	1.6
5 ~ 10ha (4)	166	36.7	16.3	8.4	3.6
10 ~ 50ha (5)	226	26.5	15.9	8.8	7.5
50 ~ 100ha (6)	44	27.3	11.4	11.4	4.5
100ha 以上 (7)	41	14.6	19.5	14.6	12.2
不明 (8)	10	30.0	10.0	20.0	10.0

注：「CoC認証」とは、森林認証材(持続可能な森林経営が行われている森林から生産された木材)が、非認証材と混合しないよう、各工場における木材及び木材製品の分別管理体制を第三者機関が審査し、承認する制度のことである。

## (17) 業務の効率化を図るためのICT技術の取り入れ状況

区分	回答者数	大いに取り入れている	多少取り入れている	あまり取り入っていない	まったく取り入っていない
計	経営体 690	1.2	4.8	7.2	65.7
保有山林面積規模別					
山林を保有していない (2)	17	5.9	5.9	17.6	52.9
5 ha 未満 (3)	186	0.5	4.8	4.8	64.5
5 ~ 10ha (4)	166	0.6	1.8	7.2	66.3
10 ~ 50ha (5)	226	1.3	6.6	7.1	65.9
50 ~ 100ha (6)	44	2.3	6.8	9.1	70.5
100ha 以上 (7)	41	2.4	4.9	12.2	68.3
不明 (8)	10	-	-	10.0	60.0

注：業務とは、生産管理や受注管理、労務管理等をいう。

## (18) ICT技術を導入している業務（複数回答）

((17)で「大いに取り入れている」、「多少取り入れている」と回答した者のみ回答)

区分	回答者数	伐採や造林などの事業計画の策定や進捗管理	補助金申請などの行政手続き	作業日誌などの労務管理や労働安全の向上	製材所等からの注文情報の受信や管理
計	経営体 41	31.7	36.6	24.4	7.3
保有山林面積規模別					
山林を保有していない (2)	2	-	50.0	50.0	-
5 ha 未満 (3)	10	20.0	60.0	-	-
5 ~ 10ha (4)	4	50.0	25.0	50.0	25.0
10 ~ 50ha (5)	18	27.8	33.3	27.8	11.1
50 ~ 100ha (6)	4	75.0	-	25.0	-
100ha 以上 (7)	3	33.3	33.3	33.3	-
不明 (8)	-	-	-	-	-

森林認証材が十分に評価されていないこと	その他	特になし	分からない	
%	%	%	%	
18.6	3.0	7.1	37.0	(1)
23.5	5.9	11.8	23.5	(2)
10.8	2.2	6.5	37.1	(3)
14.5	4.2	7.2	38.0	(4)
26.1	2.2	6.6	36.7	(5)
25.0	4.5	4.5	43.2	(6)
22.0	4.9	12.2	31.7	(7)
10.0	-	10.0	40.0	(8)

無回答	
%	
21.2	(1)
17.6	(2)
25.3	(3)
24.1	(4)
19.0	(5)
11.4	(6)
12.2	(7)
30.0	(8)

売上げ・支出等の財務管理	GIS等による森林資源情報の管理	契約締結や決済の手段	木材のトレーサビリティの確保、合法証明	その他	
%	%	%	%	%	
24.4	17.1	9.8	4.9	9.8	(1)
-	-	-	-	50.0	(2)
10.0	-	20.0	10.0	-	(3)
25.0	-	-	-	-	(4)
44.4	27.8	11.1	-	11.1	(5)
-	25.0	-	25.0	25.0	(6)
-	33.3	-	-	-	(7)
-	-	-	-	-	(8)

## (19) 業務にICT技術を導入されたことによる効果（複数回答）

（(17)で「大いに取り入れている」、「多少取り入れている」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	情報の見える化などによる付加価値の向上や、新たな取引先の獲得など販路拡大により、売上げの増加につながった	業務の効率化による経費の節減につながった	作業の安全性の向上につながった	職員のコミュニケーションの円滑化につながった
計	41	14.6	29.3	24.4	12.2
保有山林面積規模別					
山林を保有していない	2	50.0	50.0	50.0	50.0
5 ha 未満	10	-	10.0	10.0	10.0
5 ~ 10ha	4	-	25.0	25.0	-
10 ~ 50ha	18	16.7	38.9	33.3	5.6
50 ~ 100ha	4	-	50.0	25.0	25.0
100ha 以上	3	66.7	-	-	33.3
不明	-	-	-	-	-

## (20) 今後、職場にICT技術を導入したいか

区分	回答者数	大いに導入したい	どちらかという導入したい	どちらかという導入したくない	全く導入したくない
計	690	3.2	10.6	24.6	37.7
保有山林面積規模別					
山林を保有していない	17	5.9	29.4	35.3	23.5
5 ha 未満	186	-	7.5	23.7	41.9
5 ~ 10ha	166	0.6	7.2	22.9	44.0
10 ~ 50ha	226	5.3	11.9	23.9	35.8
50 ~ 100ha	44	6.8	13.6	36.4	25.0
100ha 以上	41	9.8	19.5	29.3	24.4
不明	10	10.0	10.0	-	30.0

注：(19)で「情報の見える化などによる付加価値の向上や、新たな取引先の獲得など販路拡大により、売上げの増加につながった」、「業務の効率化による経費の節減につながった」と回答した者については、更に導入を進めたいかについての回答である。

## (21) 今後、ICT技術の導入を行いたい業務（複数回答）

（(20)で「大いに導入したい」、「どちらかという導入したい」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	伐採や造林などの事業計画の策定や進捗管理	補助金申請などの行政手続き	作業日誌などの労務管理や労働安全の向上	受注管理や在庫管理
計	95	58.9	58.9	32.6	24.2
保有山林面積規模別					
山林を保有していない	6	50.0	83.3	50.0	-
5 ha 未満	14	57.1	64.3	35.7	14.3
5 ~ 10ha	13	53.8	61.5	53.8	30.8
10 ~ 50ha	39	61.5	59.0	28.2	25.6
50 ~ 100ha	9	33.3	44.4	22.2	33.3
100ha 以上	12	75.0	50.0	16.7	16.7
不明	2	100.0	50.0	50.0	100.0

取引先などの外部とのコミュニケーションの円滑化につながった	ICT技術導入の前後で特に変化は感じていない	ICT技術を導入し、作業の非効率化などのむしろ負の影響があった	その他	
%	%	%	%	
2.4	7.3	-	7.3	(1)
-	-	-	-	(2)
-	10.0	-	10.0	(3)
-	25.0	-	-	(4)
-	5.6	-	11.1	(5)
-	-	-	-	(6)
33.3	-	-	-	(7)
-	-	-	-	(8)

無回答	
%	
23.9	(1)
5.9	(2)
26.9	(3)
25.3	(4)
23.0	(5)
18.2	(6)
17.1	(7)
50.0	(8)

売上げ・支出等の財務管理	ECサイト等による、顧客への製品・在庫情報の提供や注文受付などの販売促進	契約締結や決済の手段	木材のトレーサビリティの確保、合法証明	その他	
%	%	%	%	%	
34.7	12.6	13.7	11.6	3.2	(1)
16.7	33.3	-	16.7	-	(2)
21.4	7.1	-	14.3	-	(3)
53.8	7.7	15.4	-	-	(4)
41.0	12.8	15.4	12.8	2.6	(5)
11.1	-	11.1	11.1	11.1	(6)
25.0	16.7	25.0	8.3	8.3	(7)
100.0	50.0	50.0	50.0	-	(8)

## (22) ICT技術を取り入れていない理由（複数回答）

（(17)で「あまり取り入れていない」、「まったく取り入れていない」と回答した者のみ回答）

区 分	回答者数	導入コストが高いと考えるから	導入しても使いこなせないと 思うから	導入しても業務効率化やコスト削減などの効果があると思わないから	導入したいが、取引先の理解を得るのが難しいから
		%	%	%	%
計 (1)	経営体 503	14.5	51.9	13.3	1.4
保有山林面積規模別					
山林を保有していない (2)	12	16.7	50.0	8.3	-
5 ha 未満 (3)	129	10.9	51.2	14.7	-
5 ～ 10ha (4)	122	13.9	48.4	10.7	0.8
10 ～ 50ha (5)	165	16.4	55.2	13.3	2.4
50 ～ 100ha (6)	35	8.6	62.9	11.4	5.7
100ha 以上 (7)	33	27.3	42.4	21.2	-
不明 (8)	7	14.3	42.9	14.3	-

導入したいが、社内での理解醸成が難しいから	導入したいような魅力的なスマートフォンアプリやオンラインサービスがないから	業務の効率化や情報共有の円滑化などの必要性を感じないから	その他	
%	%	%	%	
2.4	7.4	29.0	9.3	(1)
16.7	8.3	25.0	-	(2)
-	4.7	34.1	9.3	(3)
0.8	9.0	30.3	11.5	(4)
2.4	9.1	24.8	7.3	(5)
5.7	5.7	25.7	14.3	(6)
6.1	3.0	24.2	12.1	(7)
14.3	14.3	57.1	-	(8)

## (23) 単語・マークの認知度

区 分	回答者数	ウッドチェンジ				意味を知っている
		意味を知っている	意味は知らないが、見聞きしたことはある	見聞きしたことがない	無回答	
計 (1)	経営体 690	% 4.1	% 10.7	% 69.7	% 15.5	% 20.4
保有山林面積規模別						
山林を保有していない (2)	17	-	17.6	58.8	23.5	17.6
5 ha 未満 (3)	186	2.7	8.6	69.9	18.8	19.4
5 ~ 10ha (4)	166	6.0	10.2	72.9	10.8	19.3
10 ~ 50ha (5)	226	4.0	12.4	69.9	13.7	21.7
50 ~ 100ha (6)	44	4.5	9.1	75.0	11.4	18.2
100ha 以上 (7)	41	2.4	14.6	58.5	24.4	29.3
不明 (8)	10	10.0	-	50.0	40.0	10.0

区 分	間伐材マーク				Forest-Style	
	意味を知っている	意味は知らないが、見聞きしたことはある	見聞きしたことがない	無回答	意味を知っている	意味は知らないが、見聞きしたことはある
計 (1)	% 12.6	% 18.3	% 54.9	% 14.2	% 1.6	% 7.4
保有山林面積規模別						
山林を保有していない (2)	17.6	29.4	35.3	17.6	-	5.9
5 ha 未満 (3)	9.1	17.7	55.9	17.2	-	8.1
5 ~ 10ha (4)	14.5	17.5	60.2	7.8	1.8	3.6
10 ~ 50ha (5)	14.6	17.7	54.9	12.8	2.7	9.3
50 ~ 100ha (6)	11.4	25.0	50.0	13.6	2.3	9.1
100ha 以上 (7)	12.2	17.1	43.9	26.8	2.4	9.8
不明 (8)	-	10.0	50.0	40.0	-	-

区 分	ウッド・デザイン賞 (JAPAN WOOD DESIGN AWARD)				森林認証	
	意味を知っている	意味は知らないが、見聞きしたことはある	見聞きしたことがない	無回答	意味を知っている	意味は知らないが、見聞きしたことはある
計 (1)	% 11.2	% 26.8	% 47.0	% 15.1	% 14.6	% 22.5
保有山林面積規模別						
山林を保有していない (2)	11.8	52.9	17.6	17.6	29.4	17.6
5 ha 未満 (3)	7.5	23.1	49.5	19.9	7.0	21.0
5 ~ 10ha (4)	9.0	27.7	53.6	9.6	12.7	22.3
10 ~ 50ha (5)	12.8	30.5	43.4	13.3	17.3	27.0
50 ~ 100ha (6)	9.1	15.9	63.6	11.4	18.2	15.9
100ha 以上 (7)	31.7	22.0	24.4	22.0	36.6	17.1
不明 (8)	-	20.0	40.0	40.0	-	10.0



## 2 流通加工業者

### (1) 出力規模

区分	回答者数	75kW未満(小規模)	75kW以上 300kW未満 (中規模)	300kW以上 1,000kW未満 (大規模)	1,000kW以上 (大規模)
	事業者	%	%	%	%
計 (1)	466	48.7	14.4	2.8	1.7
業種別					
製材業・木製品製造業 (2)	199	62.3	20.6	3.5	1.5
造作材・合板・ 建築用組立材料製造業 (3)	81	51.9	17.3	7.4	2.5
木材・竹材卸売業 (4)	186	32.8	6.5	-	1.6

### (2) 国産材の使用状況

区分	回答者数	国産材のみ使用している	半分以上は国産材である	半分以上は外国産材である	国産材は使用していない
	事業者	%	%	%	%
計 (1)	466	37.6	20.6	32.4	4.9
業種別					
製材業・木製品製造業 (2)	199	59.8	18.6	14.6	3.0
造作材・合板・ 建築用組立材料製造業 (3)	81	32.1	13.6	38.3	12.3
木材・竹材卸売業 (4)	186	16.1	25.8	48.9	3.8

### (3) 外国産材を使用する理由（複数回答）

（(2)で「半分以上は国産材である」、「半分以上は外国産材である」、「国産材は使用していない」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	消費者が国産材に こだわっていないから	外国産材は安定的 に調達できるから	外国産材の方が安 く調達できるから	外国産材の方が品 質・性能を確保しや すいから
	事業者	%	%	%	%
計 (1)	270	47.8	36.3	37.0	28.1
業種別					
製材業・木製品製造業 (2)	72	43.1	25.0	23.6	27.8
造作材・合板・ 建築用組立材料製造業 (3)	52	38.5	38.5	46.2	19.2
木材・竹材卸売業 (4)	146	53.4	41.1	40.4	31.5

製材工場等経営なし	無回答	
%	%	
26.6	5.8	(1)
8.5	3.5	(2)
13.6	7.4	(3)
51.6	7.5	(4)

無回答
%
4.5 (1)
4.0 (2)
3.7 (3)
5.4 (4)

外国産材の方が加工しやすいから	外国産材の方が色調など多様なものを調達できるから	その他	
%	%	%	
9.6	15.6	22.2	(1)
12.5	15.3	29.2	(2)
9.6	17.3	28.8	(3)
8.2	15.1	16.4	(4)

(4) 製品、商品を取り扱う際の主な問題（複数回答）

区 分	回答者数	住宅着工戸数の減少等により木材全体の需要が減少していること	販売価格が低いこと	生産・流通コストが増大していること	原材料が安定的に確保できないこと
		事業者	%	%	%
計 (1)	466	58.6	45.1	27.5	29.4
業種別					
製材業・木製品製造業 (2)	199	54.3	47.2	25.6	33.2
造作材・合板・建築用組立材料製造業 (3)	81	54.3	48.1	29.6	29.6
木材・竹材卸売業 (4)	186	65.1	41.4	28.5	25.3

(5) 製品、商品の原材料として国産材の利用を拡大することに対する考え

区 分	回答者数	国産材の利用を拡大することは重要であると思う	国産材の利用を拡大することは重要ではないと思う	無回答
		事業者	%	%
計 (1)	466	84.5	9.4	6.0
業種別				
製材業・木製品製造業	199	86.9	5.0	8.0
造作材・合板・建築用組立材料製造業	81	77.8	18.5	3.7
木材・竹材卸売業	186	84.9	10.2	4.8

(6) 国産材の利用を拡大することは重要であると思う理由（複数回答）

（(5)で「国産材の利用を拡大することは重要であると思う」と回答した者のみ回答）

区 分	回答者数	消費者の国産材製品へのニーズが高まってきているから	国産材は為替の影響を受けることなく安定的に調達できるから	林業や地域経済の活性化に貢献できるから	森林の適切な整備・保全が行われることにつながり、国土の保全や水源涵養など森林の多面的機能が持続的に発揮されるから
		事業者	%	%	%
計 (1)	394	14.2	18.3	69.3	60.9
業種別					
製材業・木製品製造業 (2)	173	12.1	16.2	67.6	59.0
造作材・合板・建築用組立材料製造業 (3)	63	17.5	15.9	60.3	52.4
木材・竹材卸売業 (4)	158	15.2	21.5	74.7	66.5

その他	特に問題はない	
%	%	
6.9	10.3	(1)
10.1	11.1	(2)
6.2	11.1	(3)
3.8	9.1	(4)

その他	
%	
3.0	(1)
2.9	(2)
4.8	(3)
2.5	(4)

## (7) 国産材の利用を拡大するために必要な取組（複数回答）

（(5)で「国産材の利用を拡大することは重要であると思う」と回答した者のみ回答）

区 分	回答者数	品質・性能の確かな製品の供給	国産材の特色、良さのアピール	技術の開発や普及啓発	加工・流通の合理化・低コスト化
計 (1)	事業者 394	% 44.9	% 51.0	% 20.1	% 34.3
業種別					
製材業・木製品製造業 (2)	173	42.2	52.6	18.5	34.1
造作材・合板・建築用組立材料製造業 (3)	63	36.5	39.7	15.9	34.9
木材・竹材卸売業 (4)	158	51.3	53.8	23.4	34.2

## (8) 調達を希望する素材

区 分	回答者数	ほぼ全て並材を調達したい	並材を主体的に調達しつつ、高品質材や特殊材も調達したい	高品質材や特殊材を主体的に調達しつつ、並材も調達したい	ほぼ全て高品質材や特殊材を調達したい
計 (1)	事業者 466	% 9.7	% 37.6	% 17.6	% 9.2
業種別					
製材業・木製品製造業 (2)	199	15.1	35.2	14.1	7.5
造作材・合板・建築用組立材料製造業 (3)	81	4.9	27.2	19.8	14.8
木材・竹材卸売業 (4)	186	5.9	44.6	20.4	8.6

注：「路網」とは、林道、林業専用道、森林作業道、国道、県道、市町村道及び農道をいう。以下同じ。

## (9) 原木の安定調達を図るために必要と思われる取組（複数回答）

区 分	回答者数	素材生産業者や森林組合が素材生産能力を増強すること	流通加工業者が森林所有者や素材生産業者等と原木供給の協定を締結すること	流通加工業者が自社保有森林面積を増加させること	素材生産業者や流通加工業者がストックヤードを整備すること
計 (1)	事業者 466	% 48.7	% 23.0	% 5.2	% 16.7
業種別					
製材業・木製品製造業 (2)	199	51.3	19.1	3.5	13.6
造作材・合板・建築用組立材料製造業 (3)	81	43.2	19.8	6.2	18.5
木材・竹材卸売業 (4)	186	48.4	28.5	6.5	19.4

注：「ストックヤード」とは、山から伐採してきた原木を一時的に貯留する場所のことをいう。

素材生産業者との 連携による木材製 品の安定的な供給	その他	
%	%	
51.8	7.9	(1)
50.3	10.4	(2)
52.4	4.8	(3)
53.2	6.3	(4)

その他	特にこだわらない	無回答	
%	%	%	
3.9	16.1	6.0	(1)
2.0	18.6	7.5	(2)
8.6	19.8	4.9	(3)
3.8	11.8	4.8	(4)

素材生産業者等や 流通加工業者が需 給に関する情報を 共有し、調整する 仕組みがあること	その他	
%	%	
41.4	13.3	(1)
38.7	16.1	(2)
34.6	17.3	(3)
47.3	8.6	(4)

(10) 保有している森林の面積

区 分	回答者数	保有していない	5ha未満	5ha以上10ha未満	10ha以上 20ha未満
計 (1)	466	71.7	11.6	2.6	3.4
業種別					
製材業・木製品製造業 (2)	199	58.3	18.6	2.5	5.5
造作材・合板・ 建築用組立材料製造業 (3)	81	80.2	8.6	2.5	1.2
木材・竹材卸売業 (4)	186	82.3	5.4	2.7	2.2

注: 「保有している森林の面積(保有面積)」とは、所有面積から貸付面積を差し引いた後、借入面積を加えた面積をいう。

(11) 保有している森林の取り扱い予定

(10)で森林を保有していると回答した者のみ回答)

区 分	回答者数	自家消費等のため、計画的に伐採・ 再造林する	原木需要が逼迫した場合などに、臨時的に伐採する	特に伐採するつもりはない	その他
計 (1)	124	15.3	15.3	51.6	8.1
業種別					
製材業・木製品製造業 (2)	80	16.3	18.8	50.0	3.8
造作材・合板・ 建築用組立材料製造業 (3)	13	7.7	-	76.9	15.4
木材・竹材卸売業 (4)	31	16.1	12.9	45.2	16.1

(12) 森林認証材を取り扱いたいと思うか

区 分	回答者数	森林認証材を既に 取り扱っている	森林認証材を取り 扱いたいと思う	森林認証材を取り 扱いたくない 	分からない
計 (1)	466	20.8	10.7	22.3	43.6
業種別					
製材業・木製品製造業 (2)	199	16.1	10.1	24.1	46.7
造作材・合板・ 建築用組立材料製造業 (3)	81	21.0	7.4	21.0	48.1
木材・竹材卸売業 (4)	186	25.8	12.9	21.0	38.2

注: 「森林認証」とは、適切な森林経営や持続可能な森林経営が行われている森林又は経営組織などを第三者機関が認証し、それらの森林から生産された木材・木材製品へラベルを貼り付けることにより、消費者の選択的な購買を通じて、持続可能な森林経営を支援する取り組みのことをいう。

20ha以上 50ha未満	50ha以上 100ha未満	100ha以上 500ha未満	500ha以上 1,000ha未満	1,000ha以上	無回答	
% 3.6	% 3.4	% 0.9	% 0.4	% 0.6	% 1.7	(1)
5.5	5.5	1.0	0.5	1.0	1.5	(2)
-	3.7	-	-	-	3.7	(3)
3.2	1.1	1.1	0.5	0.5	1.1	(4)

無回答	
% 8.1	(1)
8.8	(2)
-	(3)
9.7	(4)

無回答	
% 2.6	(1)
3.0	(2)
2.5	(3)
2.2	(4)

(13) 森林認証材を取り扱う際に必要なCoC認証の取得にあたり想定される障害（複数回答）

区 分	回答者数	取得しても十分に活用できないこと	取得時及びその後の維持に費用がかかること	取得する際の審査が手間であること	取得の要件を満たす体制が整わないこと
		事業者	%	%	%
計 (1)	466	37.6	25.8	17.2	13.1
業種別					
製材業・木製品製造業 (2)	199	34.7	23.6	15.6	12.6
造作材・合板・建築用組立材料製造業 (3)	81	30.9	27.2	14.8	4.9
木材・竹材卸売業 (4)	186	43.5	27.4	19.9	17.2

注：「CoC認証」とは、森林認証材(持続可能な森林経営が行われている森林から生産された木材)が、非認証材と混合しないよう、各工場における木材及び木材製品の分別管理体制を第三者機関が審査し、承認する制度のことである。

(14) 購入先等からの合法性の確認に必要な情報について最も利用している入手方法

区 分	回答者数	取引の専用システムなどを活用しデジタル情報を入手している	電子メールによりデジタル情報を入手している	FAXにより紙情報を入手している	郵送等により紙情報を入手している
		事業者	%	%	%
計 (1)	466	1.7	4.3	14.6	18.7
業種別					
製材業・木製品製造業 (2)	199	1.0	2.0	14.6	23.1
造作材・合板・建築用組立材料製造業 (3)	81	1.2	2.5	13.6	19.8
木材・竹材卸売業 (4)	186	2.7	7.5	15.1	13.4

注：「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律」(通称：クリーンウッド法)が2017年5月20日に施行され、全ての木材関連事業者は入荷する木材等の合法性の確認を行うこととなっている。

十分な量の森林認証材が確保できないこと	森林認証材が十分に評価されていないこと	その他	特になし	分からない	
%	%	%	%	%	%
9.4	24.0	3.6	9.9	32.0	(1)
10.6	18.1	3.0	9.5	36.2	(2)
7.4	23.5	4.9	11.1	39.5	(3)
9.1	30.6	3.8	9.7	24.2	(4)

電話により情報を入手している	合法性の確認を行うこととなっていることは知っているが、情報を得ていない	合法性の確認を行うこととなっていることを知らなかったため、情報を得ていない	無回答	
%	%	%	%	%
11.6	22.7	17.6	8.8	(1)
12.1	19.6	17.6	10.1	(2)
9.9	17.3	27.2	8.6	(3)
11.8	28.5	13.4	7.5	(4)

(15) 木材の利用拡大のために必要だと思われる取組（複数回答）

区 分	回答者数	林業経営の安定や伐採後の再造林を確保するため、立木購入価格の引き上げ等、山元への利益還元を積極的に行うこと	新たなアイデアや加工技術の活用等により魅力的な木材製品を開発すること	香り、手触り、見た目など木の特性をアピールすること	品質（耐久性、強度など）を明示し、安全性や安心感を向上させること
		事業者 %	%	%	%
計 (1)	466	34.5	29.8	25.1	30.0
業種別					
製材業・木製品製造業 (2)	199	34.7	25.1	24.1	28.6
造作材・合板・建築用組立材料製造業 (3)	81	22.2	29.6	22.2	29.6
木材・竹材卸売業 (4)	186	39.8	34.9	27.4	31.7

区 分		木材製品を安定的に供給できる体制を整備すること	その他
		%	%
計 (1)		44.8	8.4
業種別			
製材業・木製品製造業 (2)		44.7	12.1
造作材・合板・建築用組立材料製造業 (3)		43.2	9.9
木材・竹材卸売業 (4)		45.7	3.8

(16) 木材の利用を拡大するために必要だと思われる行政のサポート（複数回答）

区 分	回答者数	買い手（木材需要）と売り手（原木供給）をマッチングする場を提供すること	行政における木材の積極的な利用（公共建築物など）を促進すること	新製品開発に対する経済的・技術的な支援	産地等の原料について信頼性のある表示ができる仕組み
		事業者 %	%	%	%
計 (1)	466	26.2	62.9	26.8	13.5
業種別					
製材業・木製品製造業 (2)	199	28.1	62.8	27.1	14.6
造作材・合板・建築用組立材料製造業 (3)	81	32.1	60.5	28.4	11.1
木材・竹材卸売業 (4)	186	21.5	64.0	25.8	13.4

木材の産地など、 原料についての製 品情報をきちんと表 示すること	間伐や伐採後の植 林を行うなど、適切 に管理された森林 から生産された木 材を使用したり、そ れをアピールしたり すること	環境に貢献する商 品(販売価格に植 林や間伐に係る寄 付金を上乗せする など)を増やすこと	地球温暖化対策や 花粉発生源対策、 地域の林業、経済 の活性化に貢献す ることをアピールす ること	製品価格を安くする こと	
%	%	%	%	%	
15.5	19.7	11.8	25.3	16.3	(1)
12.6	18.6	11.6	24.6	10.1	(2)
16.0	18.5	11.1	18.5	18.5	(3)
18.3	21.5	12.4	29.0	22.0	(4)

マーケティングに関 するアドバイス	広報活動・普及啓 発活動	海外における日本 産木材・木材製品 のPR活動等に関 する支援	その他	
%	%	%	%	
9.4	25.5	15.7	14.2	(1)
11.1	24.1	17.1	18.1	(2)
8.6	17.3	14.8	13.6	(3)
8.1	30.6	14.5	10.2	(4)

(17) 業務の効率化を図るためのICT技術の取り入れ状況

区分	回答者数	大いに取り入れている	多少取り入れている	あまり取り入っていない	まったく取り入っていない
計 (1)	事業者 466	% 3.0	% 14.2	% 25.8	% 54.3
業種別					
製材業・木製品製造業 (2)	199	1.0	8.0	28.1	57.8
造作材・合板・ 建築用組立材料製造業 (3)	81	6.2	16.0	21.0	53.1
木材・竹材卸売業 (4)	186	3.8	19.9	25.3	51.1

注：業務とは、生産管理や受注管理、労務管理等をいう。

(18) ICT技術を導入している業務（複数回答）

（(17)で「大いに取り入れている」、「多少取り入れている」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	補助金申請などの 行政手続き	作業日誌などの労 務管理や労働安全 の向上	受注管理や在庫管 理	売上げ・支出等の 財務管理
計 (1)	事業者 80	% 43.8	% 26.3	% 50.0	% 62.5
業種別					
製材業・木製品製造業 (2)	18	33.3	22.2	44.4	61.1
造作材・合板・ 建築用組立材料製造業 (3)	18	38.9	33.3	72.2	61.1
木材・竹材卸売業 (4)	44	50.0	25.0	43.2	63.6

(19) 業務にICT技術を導入されたことによる効果（複数回答）

（(17)で「大いに取り入れている」、「多少取り入れている」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	情報の見える化な どによる付加価値 の向上や、新たな 取引先の獲得など の販路拡大により、 売上げの増加につ ながった	業務の効率化によ る経費の節減につ ながった	作業の安全性の向 上につながった	職員のコミュニケー ションの円滑化に つながった
計 (1)	事業者 80	% 28.8	% 58.8	% 16.3	% 11.3
業種別					
製材業・木製品製造業 (2)	18	22.2	72.2	11.1	16.7
造作材・合板・ 建築用組立材料製造業 (3)	18	22.2	50.0	22.2	5.6
木材・竹材卸売業 (4)	44	34.1	56.8	15.9	11.4

無回答	
2.8	(1)
5.0	(2)
3.7	(3)
-	(4)

ECサイト等による顧客への製品・在庫情報の提供や注文受付などの販売促進	契約締結や決済の手段	木材のトレーサビリティの確保、合法証明	その他	
%	%	%	%	
8.8	12.5	11.3	3.8	(1)
-	5.6	-	11.1	(2)
11.1	11.1	-	-	(3)
11.4	15.9	20.5	2.3	(4)

取引先などの外部とのコミュニケーションの円滑化につながった	ICT技術導入の前で特に変化は感じていない	ICT技術を導入し、作業の非効率化などのむしろ負の影響があった	その他	
%	%	%	%	
30.0	7.5	2.5	5.0	(1)
22.2	5.6	5.6	16.7	(2)
38.9	11.1	5.6	5.6	(3)
29.5	6.8	-	-	(4)

## (20) 今後、職場にICT技術を導入したいか

区分	回答者数	大いに導入したい	どちらかという導入したい	どちらかという導入したくない	全く導入したくない
計 (1)	事業者 466	% 8.4	% 28.8	% 32.2	% 24.0
業種別					
製材業・木製品製造業 (2)	199	5.0	26.1	36.7	24.1
造作材・合板・ 建築用組立材料製造業 (3)	81	7.4	29.6	25.9	29.6
木材・竹材卸売業 (4)	186	12.4	31.2	30.1	21.5

注：(19)で「情報の見える化などによる付加価値の向上や、新たな取引先の獲得など販路拡大により、売上げの増加につながった」、「業務の効率化による経費の節減につながった」と回答した者については、更に導入を進めたいかについての回答である。

## (21) 今後、ICT技術の導入を行いたい業務（複数回答）

（(20)で「大いに導入したい」、「どちらかという導入したい」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	補助金申請などの 行政手続き	作業日誌などの労 務管理や労働安全 の向上	受注管理や在庫管 理	売上げ・支出等の 財務管理
計 (1)	事業者 173	% 38.7	% 31.2	% 57.2	% 42.2
業種別					
製材業・木製品製造業 (2)	62	50.0	33.9	61.3	45.2
造作材・合板・ 建築用組立材料製造業 (3)	30	40.0	33.3	50.0	40.0
木材・竹材卸売業 (4)	81	29.6	28.4	56.8	40.7

## (22) ICT技術を導入したくない理由（複数回答）

（(20)で「どちらかという導入したくない」、「全く導入したくない」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	導入コストが高いと 考えるから	導入しても使いこな せないと思うから	導入しても業務効 率化やコスト削減な どの効果があると思 わないから	導入したいが、取 引先の理解を得る のが難しいから
計 (1)	事業者 262	% 24.0	% 53.8	% 23.7	% 1.9
業種別					
製材業・木製品製造業 (2)	121	22.3	56.2	21.5	-
造作材・合板・ 建築用組立材料製造業 (3)	45	22.2	44.4	31.1	2.2
木材・竹材卸売業 (4)	96	27.1	55.2	22.9	4.2

無回答	
6.7	(1)
8.0	(2)
7.4	(3)
4.8	(4)

ECサイト等による顧客への製品・在庫情報の提供や注文受付などの販売促進	契約締結や決済の手段	木材のトレーサビリティの確保、合法証明	その他	
27.7	17.3	22.5	2.3	(1)
21.0	11.3	11.3	1.6	(2)
33.3	3.3	30.0	6.7	(3)
30.9	27.2	28.4	1.2	(4)

導入したいが、社内での理解醸成が難しいから	導入したいような魅力的なスマートフォンアプリやオンラインサービスがないから	業務の効率化や情報共有の円滑化などの必要性を感じないから	その他	
6.1	8.0	29.4	7.6	(1)
5.0	8.3	25.6	7.4	(2)
6.7	4.4	46.7	4.4	(3)
7.3	9.4	26.0	9.4	(4)

## (23) 単語・マークの認知度

区分	回答者数	ウッドチェンジ				意味を知っている
		意味を知っている	意味は知らないが、見聞きしたことはある	見聞きしたことがない	無回答	
計 (1)	事業者 466	% 5.8	% 17.0	% 70.2	% 7.1	% 30.0
業種別						
製材業・木製品製造業 (2)	199	5.5	15.1	71.9	7.5	31.2
造作材・合板・建築用組立材料製造業 (3)	81	3.7	14.8	75.3	6.2	30.9
木材・竹材卸売業 (4)	186	7.0	19.9	66.1	7.0	28.5

区分	間伐材マーク				Forest-Style	
	意味を知っている	意味は知らないが、見聞きしたことはある	見聞きしたことがない	無回答	意味を知っている	意味は知らないが、見聞きしたことはある
計 (1)	% 23.2	% 22.5	% 48.3	% 6.0	% 2.8	% 12.9
業種別						
製材業・木製品製造業 (2)	22.1	19.6	52.3	6.0	3.0	13.1
造作材・合板・建築用組立材料製造業 (3)	17.3	23.5	54.3	4.9	-	9.9
木材・竹材卸売業 (4)	26.9	25.3	41.4	6.5	3.8	14.0

区分	ウッド・デザイン賞(JAPAN WOOD DESIGN AWARD)				森林認証	
	意味を知っている	意味は知らないが、見聞きしたことはある	見聞きしたことがない	無回答	意味を知っている	意味は知らないが、見聞きしたことはある
計 (1)	% 24.5	% 34.5	% 34.5	% 6.4	% 42.9	% 27.7
業種別						
製材業・木製品製造業 (2)	25.6	30.7	37.2	6.5	44.2	24.6
造作材・合板・建築用組立材料製造業 (3)	27.2	37.0	30.9	4.9	33.3	22.2
木材・竹材卸売業 (4)	22.0	37.6	33.3	7.0	45.7	33.3





空気をきれいにした り、騒音をやわらげる 働き	二酸化炭素を吸収 することにより、地球 温暖化防止に貢献 する働き	心身の癒しや安らぎ の場を提供する働き	自然に親しみ、森林 と人とのかかわりを学 ぶなど教育の場とし ての働き	貴重な野生動植物 の生息の場としての 働き	
%	%	%	%	%	%
26.2	34.2	12.4	7.8	14.4	(1)
38.8	33.1	19.4	9.4	9.4	(2)
29.3	31.3	15.0	10.2	19.7	(3)
16.2	29.5	8.1	5.2	14.5	(4)
26.7	37.0	11.6	6.2	13.7	(5)
25.3	35.9	10.0	8.2	13.5	(6)
24.4	37.3	12.0	8.0	15.1	(7)
26.0	30.1	9.8	7.5	10.4	(8)
26.4	38.0	14.8	8.1	18.1	(9)

現状のままで、でき る範囲のことをすれ ばよい	その他	わからない	
%	%	%	%
10.5	0.5	17.6	(1)
10.1	0.7	26.6	(2)
19.0	-	21.8	(3)
12.1	1.2	25.4	(4)
11.0	0.7	16.4	(5)
8.8	-	12.9	(6)
4.9	0.4	7.6	(7)
12.1	0.4	17.3	(8)
9.1	0.6	17.9	(9)



原生的な森林や野生動植物を保護する活動に参加した	森林内の散策や森林浴、森林の中での教育・文化的活動を行った	木工教室といった木を使った体験活動に参加した	木が使われている施設を積極的に利用した	木の製品を積極的に購入・入手した	
%	%	%	%	%	%
2.5	4.8	1.9	3.6	6.3	(1)
5.8	7.2	3.6	6.5	12.2	(2)
4.1	6.8	3.4	4.1	3.4	(3)
2.9	2.9	1.2	2.9	4.0	(4)
2.1	3.4	-	2.1	1.4	(5)
0.6	2.9	1.2	1.8	8.2	(6)
0.9	5.8	2.2	4.4	8.0	(7)
3.3	5.8	2.1	4.4	5.0	(8)
1.7	3.9	1.7	2.9	7.5	(9)

わからない	
%	
27.4	(1)
23.7	(2)
18.4	(3)
27.2	(4)
32.2	(5)
31.8	(6)
29.3	(7)
26.6	(8)
28.1	(9)

(5) ボランティア活動以外でも継続的に地域への関わりを持ちたいか

((4)で「関心のある地域の森林(居住地域外)で活動に参加したい」、「地域に関わらず活動に参加したい」と回答した者のみ回答)

区 分	回答者数	地域の人との交流・イベントへの参加といった直接的な関わりを持ちたい		地場産品等の購入といった間接的な関わりを持ちたい		関わりを持ちたくない		その他	
		人	%	%	%	%	%		
計 (1)	186		22.6	58.6		11.3			-
年齢別									
18 ~ 29 歳 (2)	46		30.4	43.5		15.2			-
30 ~ 39 歳 (3)	25		20.0	64.0		8.0			-
40 ~ 49 歳 (4)	26		26.9	61.5		11.5			-
50 ~ 59 歳 (5)	25		12.0	76.0		8.0			-
60 ~ 69 歳 (6)	25		12.0	76.0		4.0			-
70 歳以上 (7)	39		25.6	48.7		15.4			-
男女別									
男 (8)	109		24.8	59.6		10.1			-
女 (9)	77		19.5	57.1		13.0			-

(6) 日常の生活の中で森林で行いたいこと(複数回答)

区 分	回答者数	心身の健康づくりのため森林内の散策やウォーキング		森林の中でのランニングや自転車による走行		森林の中での音楽鑑賞及び芸術鑑賞などの文化的活動		森林の中で自然を活用した保育・幼児教育	
		人	%	%	%	%	%		
計 (1)	1,000		46.7	13.8		12.7		8.5	
年齢別									
18 ~ 29 歳 (2)	139		38.1	23.7		15.1		18.0	
30 ~ 39 歳 (3)	147		42.9	19.7		15.6		16.3	
40 ~ 49 歳 (4)	173		37.6	11.0		13.9		4.0	
50 ~ 59 歳 (5)	146		41.1	14.4		10.3		5.5	
60 ~ 69 歳 (6)	170		50.0	11.8		9.4		3.5	
70 歳以上 (7)	225		62.7	7.1		12.4		6.7	
男女別									
男 (8)	481		46.6	16.2		12.9		9.1	
女 (9)	519		46.8	11.6		12.5		7.9	

区 分	特になし	
	特になし	わからない
計 (1)	32.3	6.4
年齢別		
18 ~ 29 歳 (2)	28.1	8.6
30 ~ 39 歳 (3)	33.3	5.4
40 ~ 49 歳 (4)	40.5	6.4
50 ~ 59 歳 (5)	37.0	6.8
60 ~ 69 歳 (6)	30.0	7.1
70 歳以上 (7)	26.7	4.9
男女別		
男 (8)	32.2	6.0
女 (9)	32.4	6.7

わからない	
	%
	7.5 (1)
	10.9 (2)
	8.0 (3)
	- (4)
	4.0 (5)
	8.0 (6)
	10.3 (7)
	5.5 (8)
	10.4 (9)

森林の中でのヨガや瞑想	森林に囲まれた環境にあるオフィスでの仕事	企業や団体が行う森林の中での社会貢献活動への参加	企業や団体が行う森林の中での研修への参加	その他	
%	%	%	%	%	
8.7	7.9	9.1	3.8	0.7	(1)
10.8	17.3	10.8	5.0	0.7	(2)
17.7	13.6	8.8	3.4	-	(3)
9.8	6.4	4.0	2.9	-	(4)
6.8	7.5	7.5	2.7	1.4	(5)
6.5	4.1	10.6	2.9	0.6	(6)
3.6	2.7	12.0	5.3	1.3	(7)
6.4	10.6	11.6	4.2	0.6	(8)
10.8	5.4	6.7	3.5	0.8	(9)



その他	わからない	
%	%	
4.9	17.9	(1)
3.4	10.3	(2)
2.2	21.1	(3)
6.5	18.5	(4)
4.9	17.3	(5)
5.6	17.8	(6)
5.9	20.4	(7)
5.8	16.0	(8)
4.1	19.7	(9)

取り入れたくない	
%	
6.5	(1)
6.5	(2)
12.9	(3)
11.6	(4)
4.8	(5)
3.5	(6)
1.8	(7)
6.4	(8)
6.6	(9)

文房具(ペン立て、書類トレイなど)	外構(ウッドデッキ、塀、柵など)	家電製品(オーディオ機器、携帯電話、デジカメなど)	その他	
%	%	%	%	
18.7	23.2	5.4	0.1	(1)
15.5	22.4	5.2	0.9	(2)
20.2	27.7	9.2	-	(3)
18.2	13.9	4.4	-	(4)
16.0	22.9	5.3	-	(5)
20.0	23.2	4.5	-	(6)
20.7	27.2	4.7	-	(7)
17.2	23.5	7.0	-	(8)
20.0	22.9	3.9	0.2	(9)

## (10) 木材を取り入れたいと思う理由(複数回答)

(8)で「既に取り入れている」、「積極的に取り入れたい」、「どちらかというところ取り入れたい」と回答した者のみ回答)

区 分	回答者数	香り、手触り、見た目 などが良いと思うから	安全・安心、健康に 良いと思うから	高級感があると思う から	品質(耐久性、強度な ど)が高いと思うから
		人	%	%	%
計 (1)	871	72.9	49.3	18.6	28.6
年齢別					
18 ～ 29 歳 (2)	116	75.9	42.2	26.7	24.1
30 ～ 39 歳 (3)	119	69.7	42.0	25.2	31.1
40 ～ 49 歳 (4)	137	72.3	43.1	21.2	30.7
50 ～ 59 歳 (5)	131	72.5	46.6	8.4	25.2
60 ～ 69 歳 (6)	155	71.6	52.3	17.4	34.2
70 歳 以上 (7)	213	74.6	60.6	16.0	26.3
男女別					
男 (8)	412	69.9	43.4	20.4	27.4
女 (9)	459	75.6	54.5	17.0	29.6

## (11) 国産の木材と外国産の木材のどちらを使用する方が良いと思うか

区 分	回答者数	国産の木材を使用す る方が良いと思う	外国産の木材を使用 する方が良いと思う	どちらともいえない
		人	%	%
計 (1)	1,000	65.0	3.0	32.0
年齢別				
18 ～ 29 歳	139	56.1	7.9	36.0
30 ～ 39 歳	147	54.4	5.4	40.1
40 ～ 49 歳	173	54.3	2.3	43.4
50 ～ 59 歳	146	66.4	1.4	32.2
60 ～ 69 歳	170	74.7	1.8	23.5
70 歳 以上	225	77.3	0.9	21.8
男女別				
男	481	64.0	3.5	32.4
女	519	65.9	2.5	31.6

## (12) 国産の木材を取り入れた方が良いと思う理由(2つまで回答)

(11)で「国産の木材を使用する方が良いと思う」と回答した者のみ回答)

区 分	回答者数	性質・品質(香り、安 全性、高級感、耐久 性など)が外国産の 木材より優れていると 思うから	外国産の木材より価 格が安いと思うから	外国産の木材より、 ニーズに合った木材 を入手しやすいと思 うから	伐採後の植林を行うな ど、森林が適切に管理 され、日本の森林を育 てることにつながると思 うから
		人	%	%	%
計 (1)	650	56.3	6.8	10.6	37.7
年齢別					
18 ～ 29 歳 (2)	78	69.2	14.1	11.5	10.3
30 ～ 39 歳 (3)	80	58.8	8.8	12.5	17.5
40 ～ 49 歳 (4)	94	63.8	4.3	11.7	30.9
50 ～ 59 歳 (5)	97	55.7	7.2	11.3	40.2
60 ～ 69 歳 (6)	127	53.5	4.7	5.5	43.3
70 歳 以上 (7)	174	47.7	5.2	12.1	57.5
男女別					
男 (8)	308	55.5	8.4	12.3	36.4
女 (9)	342	57.0	5.3	9.1	38.9

伐採後の植林を行うなど、適切に管理された森林から生産された木材を使うことで、地球温暖化防止などの環境貢献に役立つと思うから	木材は、循環利用が可能であり、他の素材より環境への負荷が小さく、持続可能な社会の実現に貢献できると思うから	価格が安くなると思うから	その他	わからない	
%	%	%	%	%	%
18.6	20.4	2.9	-	3.6	(1)
10.3	12.1	1.7	-	4.3	(2)
11.8	10.9	5.0	-	5.9	(3)
11.7	11.7	3.6	-	4.4	(4)
16.8	13.7	2.3	-	3.8	(5)
21.9	25.8	1.9	-	2.6	(6)
30.0	36.2	2.8	-	1.9	(7)
17.5	20.6	3.9	-	4.4	(8)
19.6	20.3	2.0	-	2.8	(9)

地域の林業、経済の活性化につながると思うから	地球温暖化問題に対する日本の取組に役立つと思うから	国産の物や地元の物を使うことにこだわりたいから	その他	わからない	
%	%	%	%	%	%
29.1	8.3	10.9	-	3.4	(1)
25.6	-	16.7	-	3.8	(2)
22.5	7.5	17.5	-	5.0	(3)
19.1	7.4	6.4	-	5.3	(4)
32.0	6.2	8.2	-	4.1	(5)
35.4	13.4	8.7	-	3.1	(6)
32.8	10.3	10.9	-	1.1	(7)
28.2	8.4	11.4	-	1.9	(8)
29.8	8.2	10.5	-	4.7	(9)

(13) 外国産の木材を取り入れた方が良いと思う理由(2つまで回答)

((11)で「外国産の木材を使用する方が良いと思う」と回答した者のみ回答)

区 分	回答者数	性質・品質(香り、安全性、高級感、耐久性など)が国産の木材より優れていると思うから		国産の木材より価格が安いと思うから		国産の木材より、ニーズに合った木材を入手しやすいと思うから		外国産の木材は、伐採後の植林を行うなど、適切に管理された森林から生産された木材が多いと思うから	
		人	%	%	%	%	%		
計 (1)	30		16.7	50.0		33.3		23.3	
年齢別									
18 ~ 29 歳 (2)	11		18.2	45.5		9.1		27.3	
30 ~ 39 歳 (3)	8		12.5	62.5		62.5		25.0	
40 ~ 49 歳 (4)	4		-	50.0		50.0		25.0	
50 ~ 59 歳 (5)	2		50.0	-		50.0		-	
60 ~ 69 歳 (6)	3		-	33.3		33.3		33.3	
70 歳以上 (7)	2		50.0	100.0		-		-	
男女別									
男 (8)	17		23.5	52.9		23.5		23.5	
女 (9)	13		7.7	46.2		46.2		23.1	

(14) 普段の生活に木材製品を取り入れるために必要な改善・開発(複数回答)

区 分	回答者数	木材、木材製品の品質(強度、耐久性、不燃など)の向上		製品の取扱い方(保管、メンテナンス方法等)など上手に使う方法の情報提供		ニーズに合った木材、木材製品を簡単に入手できる体制(販売網やECサイトの整備)		木材、木材製品の品質、塗料などの情報が分かる仕組み(表示やQRコード等)を作るなどによる、安全性や安心感の向上	
		人	%	%	%	%			
計 (1)	1,000		38.7	23.9		30.0		16.7	
年齢別									
18 ~ 29 歳 (2)	139		39.6	23.7		18.7		14.4	
30 ~ 39 歳 (3)	147		38.1	25.2		25.2		15.6	
40 ~ 49 歳 (4)	173		36.4	23.7		20.2		15.6	
50 ~ 59 歳 (5)	146		38.4	27.4		30.8		15.1	
60 ~ 69 歳 (6)	170		36.5	22.4		34.1		19.4	
70 歳以上 (7)	225		42.2	22.2		44.0		18.7	
男女別									
男 (8)	481		43.5	25.8		29.5		19.5	
女 (9)	519		34.3	22.2		30.4		14.1	

発展途上国における 経済や産業の活性化に役立つと思うから	その他	わからない	
%	%	%	(1)
10.0	-	3.3	
9.1	-	9.1	(2)
-	-	-	(3)
-	-	-	(4)
50.0	-	-	(5)
33.3	-	-	(6)
-	-	-	(7)
11.8	-	-	(8)
7.7	-	7.7	(9)

木材製品の価格の 低下	環境に貢献する商品 の開発(販売価格に 植林寄付金が含まれるなど)	脱プラスチックにつ ながる木製品の開発	産地情報や加工、流 通時の環境負荷など の情報提供	その他	わからない	
%	%	%	%	%	%	(1)
32.8	14.6	29.8	9.2	0.1	17.4	
30.2	10.1	15.8	7.2	-	26.6	(2)
27.2	10.9	26.5	6.1	-	22.4	(3)
24.3	11.6	17.3	9.2	0.6	24.3	(4)
32.2	12.3	28.1	7.5	-	12.3	(5)
41.2	15.9	34.7	6.5	-	12.4	(6)
38.7	22.7	47.6	15.6	-	10.2	(7)
36.6	12.3	24.5	8.9	-	17.3	(8)
29.3	16.8	34.7	9.4	0.2	17.5	(9)



(もくいく)		クリーンウッド法			
意味は知らないが、 見聞きしたことはあ る	見聞きしたことがな い	意味を知っている	意味は知らないが、 見聞きしたことはあ る	見聞きしたことがな い	
%	%	%	%	%	%
17.5	74.8	2.6	18.2	79.2	(1)
24.5	62.6	8.6	20.1	71.2	(2)
14.3	79.6	1.4	23.1	75.5	(3)
9.8	86.7	1.7	15.6	82.7	(4)
11.0	86.3	0.7	13.0	86.3	(5)
17.6	75.9	1.8	18.2	80.0	(6)
25.3	61.8	2.2	19.1	78.7	(7)
17.3	75.1	4.2	17.9	78.0	(8)
17.7	74.6	1.2	18.5	80.3	(9)

日本美しの森				
見聞きしたことがな い	意味を知っている	意味は知らないが、 見聞きしたことはあ る	見聞きしたことがな い	
%	%	%	%	%
88.8	3.0	14.9	82.1	(1)
77.0	3.6	17.3	79.1	(2)
85.0	2.7	10.9	86.4	(3)
90.2	0.6	12.1	87.3	(4)
93.2	2.1	4.8	93.2	(5)
91.2	0.6	14.7	84.7	(6)
92.9	7.1	24.9	68.0	(7)
86.7	3.5	15.6	80.9	(8)
90.8	2.5	14.3	83.2	(9)

見聞きしたことがな い	
%	%
81.7	(1)
69.8	(2)
80.3	(3)
87.9	(4)
89.0	(5)
81.2	(6)
80.9	(7)
81.1	(8)
82.3	(9)

**【調査事項】**

林業者	
	山林を保有している方 保有している森林の手入れはどのような状況か
1	1 十分に手入れをしている 2 十分ではないものの、必要最小限の手入れはしている 3 手入れはしているものの、必要最小限の手入れまでではできていない 4 手入れをしていない
	問1で「3」又は「4」を選択した方 必要最小限の手入れまでできていない又は手入れをしていない主な理由【複数回答】
2	1 手入れに要する費用を負担できないため 2 手入れをする労働力が不足しているため 3 高性能林業機械の導入や路網の整備が遅れているため ※高性能林業機械とは、フェラーバンチャ、ハーベスタ、プロセッサ、スキッダ、フォワード、タワーヤーダ、スイングヤーダ等をいいます。 4 国や地方自治体による支援が不十分なため 5 森林に対して興味がないため 6 その他
	現在の林業経営はどのような状況にあるか
3	1 毎年木材販売収入があり、主な収入は木材販売収入である 2 毎年木材販売収入があるが、主な収入は木材販売収入以外である 3 毎年の木材販売収入はないが、必要な間伐などの保育作業を実施している 4 毎年の木材販売収入はなく、保育作業も実施していない
	今後、森林の保有面積、雇用人数、機械台数等の経営規模(受託を含む)をどうしていきたいか
4	1 経営規模を拡大したい 2 現状の経営規模を維持したい 3 経営規模を縮小したい 4 林業経営をやめたい
	問4で「3」、「4」を選択した方 今後、林業経営の規模を縮小する又はやめるとした場合、自ら経営する代替として、保有する森林について管理を委託する、手放すなど、どのように扱っていききたいか
5	1 手放すつもりはないが、管理は委託したい 2 手放すつもりもないが、管理の委託等もしない 3 価値がつくのであれば、売却したい 4 売却ができなくても、費用がかからず、無償で手放せるなら寄附したい 5 売却や寄附ができず、費用を支払うことになってでも手放したい 6 森林を保有していない
	山林を保有している方 保有している山林において、今後5年間に主伐を実施する予定と、主伐を予定する場合の更新予定
6	1 主伐を行い、主伐後は主に自ら再生林を行いたい 2 主伐を行い、主伐後は主に森林組合等に委託して再生林を行いたい 3 主伐を行い、主伐後に再生林を行うつもりはない 4 伐期に達した山林はあるが、主伐を実施する予定はない 5 伐期に達した山林がない
	問6で「3」、「4」を選択した方 主伐や再生林を行わない理由【複数回答】
7	1 主伐を行わず、間伐を繰り返す予定であるため 2 路網整備が進んでいないため 3 森林経営に興味がないため 4 主伐の収入で、主伐又は再生林費用をまかえないため 5 主伐または再生林を委託できる業者や森林組合がないため 6 再生林しても将来の収入に不安があるため 7 再生林のための苗木を準備できないため 8 再生林後のシカ等による獣害を防げないため 9 主伐後は、積極的に天然更新による広葉樹林化を進めたいため 10 その他(具体的に記入)

8	問6で「1」～「3」を選択した方 保有山林において、現在の路網の密度はどの程度か ※「路網」とは、林道、林業専用道、森林作業道、国道、県道、市町村道及び農道																												
	1 100m/ha以上																												
	2 50m/ha以上100m/ha未満																												
	3 30m/ha以上50m/ha未満																												
	4 0m/ha以上30m/ha未満																												
9	今後どの程度の路網密度を目指したいか。																												
	1 150m/ha以上																												
	2 100m/ha以上150m/ha未満																												
	3 50m/ha以上100m/ha未満																												
	4 30m/ha以上50m/ha未満																												
10	林業の機械化について、今後どのような機械を導入(リース、レンタルを含む)したいか【2つまで回答】 (参考)																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="4">建設機械がバースマシンのもの (プロセッサ、ハーベスタなど)の場合</th> <th>フォワーダの場合</th> </tr> <tr> <th>バケット</th> <th>重 量</th> <th>車 幅</th> <th>全 長</th> <th>最大積載量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大型</td> <td>0.45</td> <td>12~13t</td> <td>2.5m</td> <td>7~8m</td> <td>2t超</td> </tr> <tr> <td>小型</td> <td>0.25</td> <td>6~7t</td> <td>2.2m</td> <td>6m</td> <td>2t以下</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	建設機械がバースマシンのもの (プロセッサ、ハーベスタなど)の場合				フォワーダの場合	バケット	重 量	車 幅	全 長	最大積載量	大型	0.45	12~13t	2.5m	7~8m	2t超	小型	0.25	6~7t	2.2m	6m	2t以下
	区 分	建設機械がバースマシンのもの (プロセッサ、ハーベスタなど)の場合				フォワーダの場合																							
		バケット	重 量	車 幅	全 長	最大積載量																							
	大型	0.45	12~13t	2.5m	7~8m	2t超																							
	小型	0.25	6~7t	2.2m	6m	2t以下																							
	1 多少高価でも大型で処理能力の高い車両系機械を導入したい																												
	2 多少処理能力が低くても小型で安価な車両系機械を導入したい																												
	3 架線系機械を導入したい																												
	4 機械はなるべく持たず、伐採などは委託などにより対応したい																												
5 既に導入済みであり、新たな導入予定は無い																													
6 その他																													
11	現在、森林の境界の明確化が進まない状況にあるが、その理由はなんだと思うか【複数回答】																												
	1 境界を隣接する所有者がわからないから																												
	2 境界を隣接する所有者の協力が得られないから																												
	3 境界を明確化するのに費用がかかるから																												
	4 境界を明確化する方法がわからないから																												
	5 市町村等による地籍調査が進まないから																												
	6 高齢のため現地の立会ができないから																												
	7 相続等により森林は保有しているが、自分の山がどこかわからない人が多いから																												
	8 効率的に境界を明確化するための地域組織等がないから																												
	9 その他																												
12	森林施業の集約化を進めるため、面的なまとまりをもった森林を対象とする「森林経営計画」について、森林所有者自ら又は林業事業体等への委託により作成を進めるためにはどのような取組・支援が必要だと思うか【複数回答】																												
	1 森林経営計画の作成を支援する人材の育成																												
	2 森林経営計画に関する森林所有者への説明会等の開催などの周知・啓発																												
	3 森林等の情報(樹種、材積、図面、周辺の所有者等)の林業事業体への提供																												
	4 経営を安心して委託できる林業事業体の森林所有者への紹介																												
	5 経営委託に関する具体的な費用等の情報提供																												
	6 計画の作成に要する所有者や境界の確定、合意形成等の経費への支援の拡充																												
	7 森林経営計画の作成された森林に対する補助金や税制優遇の拡充																												
	8 その他																												

	伐採業者(素材生産業者)や森林組合などにどのような役割を期待するか【複数回答】
13	1 植付や間伐等の個々の作業を引き受けること
	2 長期にわたり、各種の作業を一括して引き受けること
	3 森林にかかる計画策定から管理経営までを引き受けること
	4 森林所有者と共同で森林経営計画を作成すること
	5 計画の作成や作業に係る技術的助言又は情報提供を行うこと
	6 森林の売渡しや貸付などの情報を発信すること
	7 森林の管理経営だけでなく、森林の土地の所有権を含めて引き受けること
	8 原木をとりまとめ、木材の有利な販売を行い、木材を高く販売すること
	9 その他
	10 特に期待する役割はない
	木材需要に応じた原木の安定供給のためには、どのような取組が効果的だと思うか【複数回答】
14	1 複数の森林組合等が連携し、広域的な供給体制を確保すること
	2 複数の森林所有者等が共同で森林経営計画を作成すること
	3 素材生産業者や森林組合を育成すること
	4 安定供給に取り組む素材生産業者や森林組合に生産を委託すること
	5 森林所有者や素材生産業者等と製材工場等が原木供給の協定を締結すること
	6 素材生産業者や製材工場等が森林の所有を拡大すること
	7 その他
	森林認証の取得に取り組みたいと思うか。 ※「森林認証」とは、適切な森林経営や持続可能な森林経営が行われている森林又は経営組織などを第三者機関が認証し、それらの森林から生産された木材・木材製品へラベルを貼り付けることにより、消費者の選択的な購買を通じて、持続可能な森林経営を支援する取り組みです。
15	1 森林認証を既に取得している
	2 森林認証を取得したいと思う
	3 森林認証を取得したいと思わない
	4 分からない
	森林認証の取得にあたり、障害と思われることは何か【複数回答】
16	1 森林の所有規模が小さく、取得しても十分に活用できないこと
	2 取得時及びその後の維持に費用がかかること
	3 取得する際の審査が手間であること
	4 CoC認証を取得している製造・加工・流通業者が少ないこと
	5 森林認証材が十分に評価されていないこと
	6 その他
	7 特になし
	8 分からない
	あなたの職場において業務(生産管理や受注管理、労務管理等)の効率化を図るため、スマートフォンのアプリやオンラインサービスなどのICT技術を取り入れているか。
17	1 大いに取り入れている
	2 多少取り入れている
	3 あまり取り入っていない
	4 まったく取り入っていない
	問17で「1」、「2」を選択した方 どのような業務にICT技術を導入されているか【複数回答】
18	1 伐採や造林などの事業計画の策定や進捗管理
	2 補助金申請などの行政手続き
	3 作業日誌などの労務管理や労働安全の向上
	4 製材所等からの注文情報の受信や管理
	5 売上げ・支出等の財務管理
	6 GIS等による森林資源情報の管理
	7 契約締結や決済の手段
	8 木材のトレーサビリティの確保、合法証明
	9 その他(具体的に記入)

	問17で「1」、「2」を選択した方 業務にICT技術を導入された結果としてどのような効果があったか【複数回答】
19	1 情報の見える化などによる付加価値の向上や、新たな取引先の獲得など販路拡大により、 売上げの増加につながった 2 業務の効率化による経費の節減につながった 3 作業の安全性の向上につながった 4 職員のコミュニケーションの円滑化につながった 5 取引先などの外部とのコミュニケーションの円滑化につながった 6 ICT技術導入の前後で特に変化は感じていない 7 ICT技術を導入し、作業の非効率化などのむしろ負の影響があった 8 その他(具体的に記入)
20	今後あなたの職場にICT技術を導入したいと思うか。 (問17で「1」、「2」を選択された場合は、更に導入を進めたいと思うか。)
	1 大いに導入したい 2 どちらかという導入したい 3 どちらかという導入したくない 4 全く導入したくない
	問20で「1」、「2」を選択した方 今後、どのような業務へのICT技術の導入を行いたい【複数回答】
21	1 伐採や造林などの事業計画の策定や進捗管理 2 補助金申請などの行政手続き 3 作業日誌などの労務管理や労働安全の向上 4 受注管理や在庫管理 5 売上げ・支出等の財務管理 6 ECサイト等による、顧客への製品・在庫情報の提供や注文受付などの販売促進 7 契約締結や決済の手段 8 木材のトレーサビリティの確保、合法証明 9 その他(具体的に記入)
	問19で「3」、「4」を選択した方 ICT技術を取り入れていない理由【複数回答】
22	1 導入コストが高いと考えるから 2 導入しても使いこなせないと思うから 3 導入しても業務効率化やコスト削減などの効果があると思わないから 4 導入したいが、取引先の理解を得るのが難しいから 5 導入したいが、社内での理解醸成が難しいから 6 導入したいような魅力的なスマートフォンアプリやオンラインサービスがないから 7 業務の効率化や情報共有の円滑化などの必要性を感じないから 8 その他(具体的に記入)
	単語・マークの認知度について ①～⑧の単語・マークについて、それぞれ該当する選択肢1つ選択
23	① ウッドチェンジ ② 木育(もくいく) ③ クリーンウッド法 ④ 間伐材マーク ⑤ Forest-Style ⑥ 日本美しの森 ⑦ ウッド・デザイン賞(JAPAN WOOD DESIGN AWARD) ⑧ 森林認証(FSC、SGEC、PEFC)
	【間伐材マーク】【ウッドデザイン賞】
	 
	1 意味を知っている 2 意味は知らないが、見聞きしたことはある 3 見聞きしたことがない

流通加工業者	
1	出力規模について
	1 75kW未満(小規模)
	2 75kW以上300kW未満(中規模)
	3 300kW以上1,000kW未満(大規模)
	4 1,000kW以上(大規模)
	5 製材工場等経営なし
2	国産材をどのくらい使用しているか。
	1 国産材のみ使用している
	2 半分以上は国産材である
	3 半分以上は外国産材である
	4 国産材は使用していない
3	問2で「2」～「4」を選択した方 外国産材を使用する理由【複数回答】
	1 消費者が国産材にこだわっていないから
	2 外国産材は安定的に調達できるから
	3 外国産材の方が安く調達できるから
	4 外国産材の方が品質・性能を確保しやすいから
	5 外国産材の方が加工しやすいから
	6 外国産材の方が色調など多様なものを調達できるから
	7 その他(具体的に記入)
4	製品、商品を取り扱う際の主な問題【複数回答】
	1 住宅着工戸数の減少等により木材全体の需要が減少していること
	2 販売価格が低いこと
	3 生産・流通コストが増大していること
	4 原材料が安定的に確保できないこと
	5 その他
	6 特に問題はない
5	製品、商品の原材料として国産材の利用を拡大することについてどう思うか。
	1 国産材の利用を拡大することは重要であると思う
	2 国産材の利用を拡大することは重要ではないと思う
6	問5で「1」を選択した方 国産材の利用を拡大することが重要だと思う理由【複数回答】
	1 消費者の国産材製品へのニーズが高まってきているから
	2 国産材は為替の影響を受けることなく安定的に調達できるから
	3 林業や地域経済の活性化に貢献できるから
	4 森林の適切な整備・保全が行われることにつながり、国土の保全や水源涵養など森林の多面的機能が持続的に発揮されるから
	5 その他
7	問5で「1」を選択した方 国産材の利用を拡大するためにどのような取組が必要だと思うか【複数回答】
	1 品質・性能の確かな製品の供給
	2 国産材の特色、良さのアピール
	3 技術の開発や普及啓発
	4 加工・流通の合理化・低コスト化
	5 素材生産業者との連携による木材製品の安定的な供給
	6 その他
8	どのような素材を調達したいと思うか。
	1 ほぼ全て並材を調達したい
	2 並材を主体的に調達しつつ、高品質材や特殊材も調達したい
	3 高品質材や特殊材を主体的に調達しつつ、並材も調達したい
	4 ほぼ全て高品質材や特殊材を調達したい
	5 その他
	6 特にこだわらない

	原木の安定調達を図るためにはどのような取組が必要だと思うか【複数回答】
9	1 素材生産業者や森林組合が素材生産能力を増強すること
	2 流通加工業者が森林所有者や素材生産業者等と原木供給の協定を締結すること
	3 流通加工業者が自社保有森林面積を増加させること
	4 素材生産業者や流通加工業者がストックヤードを整備すること ※「ストックヤード」とは、山から伐採してきた原木を一時的に貯留する場所のことをいいます。
	5 素材生産業者等や流通加工業者が需給に関する情報を共有し、調整する仕組みがあること
	6 その他
10	あなたが保有している森林の面積 ※「保有している森林の面積(保有面積)」とは、所有面積から貸付面積を差し引いた後、借入面積を加えた面積です。
	1 保有していない
	2 5ha未満
	3 5ha以上10ha未満
	4 10ha以上20ha未満
	5 20ha以上 50ha未満
	6 50ha以上 100ha未満
	7 100ha以上 500ha未満
	8 500ha以上 1,000ha未満
9 1,000ha以上	
11	問10で「2」～「9」を選択した方 保有している森林をどのように取り扱っていく予定か。
	1 自家消費等のため、計画的に伐採・再造林する
	2 原木需要がひっ迫した場合などに、臨時的に伐採する
	3 特に伐採するつもりはない
12	森林認証材を取り扱いたいと思うか。 ※「森林認証材」とは、持続可能な森林経営が行われている森林から生産された木材です。
	1 森林認証材を既に取り扱っている
	2 森林認証材を取り扱いたいと思う
	3 森林認証材を取り扱いたくない
13	森林認証材を取り扱う際に必要となるCoC認証の取得にあたり、障害と思われることは何か【複数回答】 ※「CoC認証」とは、森林認証材(持続可能な森林経営が行われている森林から生産された木材)が、非認証材と混合しないよう、各工場における木材及び木材製品の分別管理体制を第三者機関が審査し、承認する制度です。
	1 取得しても十分に活用できないこと
	2 取得時及びその後の維持に費用がかかること
	3 取得する際の審査が手間であること
	4 取得の要件を満たす体制が整わないこと
	5 十分な量の森林認証材が確保できないこと
	6 森林認証材が十分に評価されていないこと
	7 その他
	8 特になし
9 分からない	
14	「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律」(通称:クリーンウッド法)が2017年5月20日に施行され、全ての木材関連事業者は入荷する木材等の合法性の確認を行うこととなっていますが、購入先等から合法性の確認に必要な情報(※)についてどのような方法で入手しているか【最も利用している方法を1つ回答】 ※ 第一種木材関連事業を行う者は樹種、伐採国、伐採の合法証明書等の情報、第二種木材関連事業を行う者は購入先から提供を受けた書類等の情報により、木材等の合法性を確認することとなっています
	1 取引の専用システムなどを活用しデジタル情報を入手している
	2 電子メールによりデジタル情報を入手している
	3 FAXにより紙情報を入手している
	4 郵送等により紙情報を入手している
	5 電話により情報を入手している
	6 合法性の確認を行うこととなっていることは知っているが、情報を得ていない
7 合法性の確認を行うこととなっていることを知らなかったため、情報を得ていない	

15	木材の利用を拡大するためには、流通加工業者としてどのような取組が必要だと思うか【複数回答】
	1 林業経営の安定や伐採後の再造林を確保するために、立木購入価格を引き上げるなど、山元へ利益還元を積極的に行うこと
	2 新たなアイデアや加工技術の活用等により魅力的な木材製品を開発すること
	3 香り、手触り、見た目など木の特性をアピールすること
	4 品質(耐久性、強度など)を明示し、安全性や安心感を向上させること
	5 木材の産地など、原料についての製品情報をきちんと表示すること
	6 間伐や伐採後の植林を行うなど、適切に管理された森林から生産された木材(森林認証材など)を使用したり、それをアピールしたりすること
	7 環境に貢献する商品(販売価格に植林や間伐に係る寄付金を上乗せするなど)を増やすこと
	8 地球温暖化対策や花粉発生源対策、地域の林業、経済の活性化に貢献することをアピールすること
	9 製品価格を安くすること
	10 木材製品を安定的に供給できる体制を整備すること
11 その他	
16	木材の利用を拡大するためには、どのような行政のサポートが必要だと思うか【複数回答】
	1 買い手(木材需要)と売り手(原木供給)をマッチングする場を提供すること
	2 行政における木材の積極的な利用(公共建築物など)を促進すること
	3 新製品開発に対する経済的・技術的な支援
	4 産地等の原料について信頼性のある表示ができる仕組み
	5 マーケティングに関するアドバイス
	6 広報活動・普及啓発活動
	7 海外における日本産木材・木材製品のPR活動等に関する支援
8 その他	
17	あなたの職場において業務(生産管理や受注管理、労務管理等)の効率化を図るため、スマートフォンのアプリやオンラインサービスなどのICT技術を取り入れているか。
	1 大いに取り入れている
	2 多少取り入れている
	3 あまり取り入れていない
4 全く取り入れていない	
18	問17で「1」、「2」を選択した方 どのような業務にICT技術を導入されているか【複数回答】
	1 補助金申請などの行政手続き
	2 作業日誌などの労務管理や労働安全の向上
	3 受注管理や在庫管理
	4 売上げ・支出等の財務管理
	5 ECサイト等による顧客への製品・在庫情報の提供や注文受付などの販売促進
	6 契約締結や決済の手段
	7 木材のトレーサビリティの確保、合法証明
8 その他(具体的に記入)	
19	問17で「1」、「2」を選択した方 業務にICT技術を導入された結果としてどのような効果があったか【複数回答】
	1 情報の見える化などによる付加価値の向上や、新たな取引先の獲得などの販路拡大により、売上げの増加につながった
	2 業務の効率化による経費の節減につながった
	3 作業の安全性の向上につながった
	4 職員のコミュニケーションの円滑化につながった
	5 取引先などの外部とのコミュニケーションの円滑化につながった
	6 ICT技術導入の前で特に変化は感じていない
	7 ICT技術を導入し、作業の非効率化などのむしろ負の影響があった
8 その他(具体的に記入)	
20	今後あなたの職場にICT技術を導入したいと思うか。 (問17で「1」又は「2」を選択された場合は更に導入を進めたいと思うか。)
	1 大いに導入したい
	2 どちらかという導入したい
	3 どちらかという導入したくない
4 全く導入したくない	

21	問20で「1」、「2」を選択した方 今後、どのような業務へのICT技術の導入を行いたいか【複数回答】
	1 補助金申請などの行政手続き
	2 作業日誌などの労務管理や労働安全の向上
	3 受注管理や在庫管理
	4 売上げ・支出等の財務管理
	5 ECサイト等による顧客への製品・在庫情報の提供や注文受付などの販売促進
	6 契約締結や決済の手段
	7 木材のトレーサビリティの確保、合法証明
	8 その他(具体的に記入)
22	問20で「3」、「4」を選択した方 ICT技術を導入したくない理由【複数回答】
	1 導入コストが高いと考えるから
	2 導入しても使いこなせないと思うから
	3 導入しても業務効率化やコスト削減などの効果があると思わないから
	4 導入したいが、取引先の理解を得るのが難しいから
	5 導入したいが、社内での理解醸成が難しいから
	6 導入したいような魅力的なスマートフォンアプリやオンラインサービスがないから
	7 業務の効率化や情報共有の円滑化などの必要性を感じないから
	8 その他(具体的に記入)
23	単語・マークの認知度について ①～⑧の単語・マークについて、それぞれ該当する選択肢1つ選択
	① ウッドチェンジ ② 木育(もくいく) ③ クリーンウッド法 ④ 間伐材マーク ⑤ Forest-Style ⑥ 日本美しの森 ⑦ ウッド・デザイン賞(JAPAN WOOD DESIGN AWARD) ⑧ 森林認証(FSC、SGEC、PEFC)
	【間伐材マーク】【ウッドデザイン賞】
	 
	1 意味を知っている 2 意味は知らないが、見聞きしたことはある 3 見聞きしたことがない

消費者	
1	今後、森林のどのような働きを期待するか【3つまで回答】
	1 住宅用建材や家具、紙などの原材料となる木材を生産する働き
	2 きのことや山菜などの林産物を生産する働き
	3 水資源を蓄える働き
	4 山崩れや洪水などの災害を防止する働き
	5 空気をきれいにしたり、騒音をやわらげる働き
	6 二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き
	7 心身の癒しや安らぎの場を提供する働き
	8 自然に親しみ、森林と人とのかかわりを学ぶなど教育の場としての働き
	9 貴重な野生動植物の生息の場としての働き
	10 その他
	11 特にない
	12 分からない
2	今後、問1の選択肢(「1」～「9」)に挙げたような森林の働きを持続的に発揮させていく上で、誰が主体となって積極的に森林の整備を進めるべきだと思うか【複数回答】
	1 森林所有者自らの取り組みを主体に森林の整備を進める
	2 国や地方公共団体が主体となって森林の整備を進める
	3 森林組合などの林業事業体が所有者の委託を受けて森林の整備を進める
	4 広く情報を提供して国民の幅広い参加や協力により、森林の整備を進める
	5 現状のままで、できる範囲のことをすればよい
	6 その他
	7 分からない
3	過去1年ぐらいの間に、森林や木材と関わることで、どのようなことを行ったか【複数回答】
	1 インターネット、書籍等の媒体で、森林に関する情報を入手した
	2 インターネット、書籍等の媒体で、木材に関する情報を入手した
	3 森林に関する講演会やシンポジウムに参加した
	4 植樹や枝打ち体験などの森林整備体験に参加した
	5 原生的な森林や野生動植物を保護する活動に参加した
	6 森林内の散策や森林浴、森林の中での教育・文化的活動を行った
	7 木工教室といった木を使った体験活動に参加した
	8 木が使われている施設を積極的に利用した
	9 木の製品を積極的に購入・入手した
	10 その他(具体的に記入)
	11 特にない
12 分からない	
4	次代に森林を残すため、下草刈や間伐などの森林づくりのボランティア活動に参加したいと思うか。 ※下草刈とは、植栽木に日光が当たるよう、雑草木等を刈り払うこと ※間伐とは、樹木の成長に応じて、一部の植栽木を伐採し、立木密度を調整すること
	1 身近にある森林(居住地域内)で活動に参加したい
	2 関心のある地域の森林(居住地域外)で活動に参加したい
	3 地域に関わらず活動に参加したい
	4 参加したくない
	5 分からない
5	問4で「2」、「3」を選択した方 ボランティア活動へ参加した場合、ボランティア活動以外でも継続的に地域への関わりを持ちたいか。
	1 地域の人との交流・イベントへの参加といった直接的な関わりを持ちたい
	2 地場産品等の購入といった間接的な関わりを持ちたい
	3 関わりを持ちたくない
	4 その他
	5 分からない

	<p>日常生活の中で、森林でどのようなことを行いたい【複数回答】</p>
6	<p>1 心身の健康づくりのため森林内の散策やウォーキング  2 森林の中でのランニングや自転車による走行  3 森林の中での音楽鑑賞及び芸術鑑賞などの文化的活動  4 森林の中で自然を活用した保育・幼児教育  5 森林の中でのヨガや瞑想  6 森林に囲まれた環境にあるオフィスでの仕事  7 企業や団体が行う森林の中での社会貢献活動への参加  8 企業や団体が行う森林の中での研修への参加  9 その他  10 特になし  11 分からない</p>
7	<p>問6で「1」～「8」を選択した方  問6の森林空間利用において、整備されたコース・会場等を利用する場合やガイドなどが案内するプログラムに参加する場合、どの程度の料金までなら支払って受けてみたいと思うか(ただし、交通・宿泊・飲食に係るサービスは含まないものとする)  (なお、問24で複数回答した場合は、その中で最も高い料金のものを記入)。</p> <p>1 1回当たり1,000円未満であれば受けてみたい  2 1回当たり1,000円以上5,000円未満であれば受けてみたい  3 1回当たり5,000円以上10,000円未満であれば受けてみたい  4 1回当たり10,000円以上でも受けてみたい  5 その他  6 分からない</p>
8	<p>身の回りの生活用品(住宅などの建築物を除く)などに木材製品を取り入れたいか</p> <p>1 既に取り入れている  2 積極的に取り入れたい  3 どちらかという取り入れたい  4 どちらかという取り入れたくない  5 取り入れたくない</p>
9	<p>問8で「1」～「3」を選択した方  身の回りにどのような木材を取り入れているか、又は取り入れたいか【複数回答】</p> <p>1 内装(家屋・事務所・事業所の内装など)  2 家具(タンス、食器棚、テーブル、机など)  3 食器・台所用品(スプーン、お皿、まな板など)  4 おもちゃ・遊具  5 文房具(ペン立て、書類トレイなど)  6 外構(ウッドデッキ、塀、柵など)  7 家電製品(オーディオ機器、携帯電話、デジカメなど)  8 その他(具体的に記入)</p>
10	<p>問8で「1」～「3」を選択した方  木材を取り入れたいと思う理由【複数回答】</p> <p>1 香り、手触り、見た目などが良いと思うから  2 安全・安心、健康に良いと思うから  3 高級感があると思うから  4 品質(耐久性、強度など)が高いと思うから  5 伐採後の植林を行うなど、適切に管理された森林から生産された木材を使うことで、地球温暖化防止などの環境貢献に役立つと思うから  6 木材は、循環利用が可能であり、他の素材より環境への負荷が小さく、持続可能な社会の実現に貢献できると思うから  7 価格が安くなると思うから  8 その他(具体的に記入)  9 分からない</p>

	国産の木材と外国産の木材のどちらを使用する方が良いと思うか
11	1 国産の木材を使用する方が良いと思う 2 外国産の木材を使用する方が良いと思う 3 どちらともいえない
	問11で「1」を選択した方 国産の木材を取り入れた方が良いと思う理由【2つまで回答】
12	1 性質・品質(香り、安全性、高級感、耐久性など)が外国産の木材より優れていると思うから 2 外国産の木材より価格が安いと思うから 3 外国産の木材より、ニーズに合った木材を入手しやすいと思うから 4 伐採後の植林を行うなど、森林が適切に管理され、日本の森林を育てることにつながると思うから 5 地域の林業、経済の活性化につながると思うから 6 地球温暖化問題に対する日本の取組に役立つと思うから 7 国産の物や地元の物を使うことにこだわりたいから 8 その他(具体的に記入) 9 分からない
	問11で「2」を選択した方 外国産の木材を取り入れた方が良いと思う理由【2つまで回答】
13	1 性質・品質(香り、安全性、高級感、耐久性など)が国産の木材より優れていると思うから 2 国産の木材より価格が安いと思うから 3 国産の木材より、ニーズに合った木材を入手しやすいと思うから 4 外国産の木材は、伐採後の植林を行うなど、適切に管理された森林から生産された木材が多いと思うから 5 発展途上国における経済や産業の活性化に役立つと思うから 6 その他(具体的に記入) 7 分からない
	どのような改善・開発がなされれば、あなたは普段の生活に木製品をもっと取り入れるのか【複数回答】
14	1 木材、木材製品の品質(強度、耐久性、不燃など)の向上 2 製品の取扱い方(保管、メンテナンス方法等)など上手に使う方法の情報提供 3 ニーズに合った木材、木材製品を簡単に入手できる体制(販売網やECサイト)の整備 4 木材、木材製品の品質、塗料などの情報が分かる仕組み(表示やQRコード等)を作るなどによる、安全性や安心感の向上 5 木材製品の価格の低下 6 環境に貢献する商品の開発(販売価格に植林寄付金が含まれるなど) 7 脱プラスチックにつながる木製品の開発 8 産地情報や加工、流通時の環境負荷などの情報提供 9 その他(具体的に記入) 10 分からない

15	<p>単語・マークの認知度について</p> <p>①～⑧の単語・マークについて、それぞれ該当する選択肢1つ選択</p> <p>① ウッドチェンジ          ② 木育(もくいく)          ③ クリーンウッド法          ④ 間伐材マーク          ⑤ Forest-Style          ⑥ 日本美しの森          ⑦ ウッド・デザイン賞(JAPAN WOOD DESIGN AWARD)          ⑧ 森林認証(FSC、SGEC、PEFC)</p> <p>【間伐材マーク】 【ウッドデザイン賞】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>
	1 意味を知っている
	2 意味は知らないが、見聞きしたことはある
	3 見聞きしたことがない

## 【調査の概要】

### 1 調査の目的

我が国の森林資源は、人工林を中心に充実してきており、木材供給といった資源、産業面からの役割とともに、国土の保全等の環境面、都市と山村をつなぐ地方創生の観点からも国民、企業等の関心が高まっている。一方で、所有者の所在が不明な森林の発生、人手不足等により、森林の経営、管理等が困難となる等の課題も生じている。

こうした中、森林の適切な経営、管理等を進めるとともに、森林から供給される木材の需要拡大等の取組をさらに充実していくため、消費者、林業者及び流通加工業者の森林資源の循環利用に関する意識、意向等を把握し、今後の森林・林業関連施策の検討のための基礎資料を整備することを目的とする。

### 2 調査の対象

#### (1) 林業者

2015年農林業センサス農林業経営体調査における林業経営体

#### (2) 流通加工業者

事業所母集団データベースに登録されている2016年経済センサスにおける日本標準産業分類が「製造業・木製品製造業」、「造作材・合板・建築用組立材料製造業」及び「木材・竹材卸売業」のいずれかに属する事業所のうち、売上金額がある事業所

#### (3) 消費者

民間事業者が保有するモニターにおいて、全国の18歳以上の者

### 3 調査事項

今後の取組意向、取組が困難な理由、国産材への使用意向、国産材が重要な理由、森林の働きの認知、ボランティア参加の意向等

### 4 調査期間

本調査は、令和2年10月中旬から11月上旬までの間に実施した。

### 5 調査方法

#### (1) 林業者及び流通加工業者

民間事業者が、調査対象者に調査票を郵送し、調査対象者が記入した調査票を郵送またはオンラインにより回収する方法により実施した。

#### (2) 消費者

民間事業者が、登録モニターに自社システムによるWeb調査を行う方法により実施した。

### 6 集計方法

各項目とも、単純に積み上げ集計した。

## 7 調査対象数、有効回答数及び有効回答率

### (1) 林業者

2015年農林業センサスの2(1)の区分別の経営体構成割合に基づき配分した調査対象数、有効回答数及び有効回答率は次のとおりである。

区 分	調査対象数	有効回答数	有効回答率
林 業 者	1,000 経営体	690 経営体	69.0%
山林を保有していない	14 経営体	7 経営体	50.0%
5ha 未満	284 経営体	200 経営体	70.4%
5～10ha	279 経営体	196 経営体	70.3%
10～50ha	340 経営体	224 経営体	65.9%
50～100ha	41 経営体	30 経営体	73.2%
100ha 以上	42 経営体	33 経営体	78.6%

注： 有効回答数とは、集計に用いた調査対象者の数である（以下同じ）。

なお、調査結果及び統計表の保有山林規模別の回答数は、調査票で把握した回答結果により集計した数であることから、有効回答数とは一致していない。

### (2) 流通加工業者

事業所母集団データベースの2(2)の区分別の事業所構成割合に基づき配分した調査対象数、有効回答数及び有効回答率は次のとおりである。

区 分	調査対象数	有効回答数	有効回答率
流通加工業者	1,000 事業所	466 事業所	46.6%
製造業・木製品製造業	380 事業所	199 事業所	52.4%
造作材・合板・建築用組立材料製造業	179 事業所	81 事業所	45.3%
木材・竹材卸売業	441 事業所	186 事業所	42.2%

### (3) 消費者

2015年国勢調査の男女別年齢階層別の人口構成割合（18歳以上の人口に対する男女別年齢階層の比率）に基づき配分した調査対象数（有効回答数）は次のとおりである。

区 分	計	男	女
消 費 者	1,000 人	481 人	519 人
18～29歳	139 人	71 人	68 人
30～39歳	147 人	74 人	73 人
40～49歳	173 人	87 人	86 人
50～59歳	146 人	73 人	73 人
60～69歳	170 人	83 人	87 人
70歳以上	225 人	93 人	132 人

## 8 用語の解説

保有山林	所有山林 - 貸付山林 + 借入山林
所有山林	実際に所有している山林をいう。
貸付山林	所有山林のうち山林として使用するため他者が地上権の設定をした山林、他者に貸し付けている土地又は分収（土地所有者と造林者が異なり、両方で収益を分配するもの）させている山林をいう。
借入山林	単独で山林として使用するため地上権を設定した他人の山林、他者から借りている山林又は分収している山林をいう。
保有山林面積	所有山林面積 - 貸付山林面積 + 借入山林面積
路網	保有山林内にある林道、林業専用道、森林作業道、国道、県道、市町村道及び農道をいう。
路網密度	保有山林 1 ヘクタール当たりの路網の距離をいう。 路網密度 (m/ha) = 路網の総距離 (m) ÷ 保有山林面積 (ha)
高性能林業機械	フェラーバンチャ、ハーベスタ、プロセッサ、スキッダ、フォワーダ、タワーヤーダ、スイングヤーダ等をいう。
下草刈	植栽木に日光が当たるよう、雑草木等を刈り払うことをいう。
間伐	樹木の成長に応じて、一部の植栽木を伐採し、立木密度を調整することをいう。
ウッドチェンジ	暮らしの中に木材製品を取り入れることで、日本の森林を育てていく運動（木づかい運動）を展開しており、その一環として、身近なものを国産木材を利用した木材製品に変えることをいう。
木育（もくいく）	木づかい運動の一環として行われている活動で、子どもから大人までを対象に、木材や木製品との触れ合いを通じて木材への親しみや木の文化への理解を深めて、木材の良さや利用の意義を学んでもらうための活動をいう。
クリーンウッド法	合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律（平成 28 年法律第 48 号）。クリーンウッド法は通称。

	<p>日本又は原産国の法令に適合して伐採された樹木を材料とする木材・その製品の流通及び利用を促進することを目的として、対象となる木材等や木材関連事業者の範囲、登録制度等を定めるとともに、木材関連事業者や国が取り組むべき措置について定めている。</p>
間伐材マーク	<p>間伐や間伐材利用の重要性等をPRする、間伐材を用いた製品に表示するマークをいう。</p>
Forest-Style	<p>人生の各時期（乳幼児期、学齢期、青年期、壮年期、老年期）やワーク（仕事、学業等）、ライフ（生活、余暇等）、外国人等ライフステージに応じて森林と関わることをいう。</p>
日本美しい森	<p>自然景観が優れ、森林浴や自然観察、野外スポーツ等への利用が期待される森林で、国民の保健・文化・教育的利用に積極的に供することが適当と認められる国有林野（レクリエーションの森）のうち、特に魅力的な自然景観を有する等、観光資源としての活用の推進が期待されるものを「日本美しい森 お薦め国有林」として選定している。</p>
ウッド・デザイン賞（JAPAN WOOD DESIGN AWARD）	<p>木の良さや価値を再発見できる製品や取組について、特に優れたものを消費者目線で評価し、表彰する顕彰制度をいう。これによって木のある豊かな暮らしが普及・発展し、日々の生活や社会が彩られ、木材利用が進むことを目的としている。</p>
森林認証（FSC、SGEC、PEFC）	<p>適切な森林経営や持続可能な森林経営が行われている森林又は経営組織などを第三者機関が認証し、それらの森林から生産された木材・木材製品へラベルを貼り付けることにより、消費者の選択的な購買を通じて、持続可能な森林経営を支援する取り組みをいう。</p>
森林認証材	<p>持続可能な森林経営が行われている森林から生産された木材をいう。</p>
CoC 認証	<p>森林認証材（持続可能な森林経営が行われている森林から生産された木材）が、非認証材と混合しないよう、各工場における木材及び木材製品の分別管理体制を第三者機関が審査し、承認する制度をいう。</p>

## 9 調査における留意点

本調査は、調査対象の意識、意向等を把握することを目的に実施したものであり、有効な回答を全国値として推計したものではないことから、利用に当たっては留意する必要がある。

### 【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

- この結果の分野別分類は「農林水産行政等に対する意識・意向調査」に分類しています。

【 <https://www.maff.go.jp/j/finding/mind/index.html> 】

#### お問合せ先

##### ◎本調査結果について

林野庁 林政部企画課企画第1班  
電話：（代表）03-3502-8111 内線：6063  
（直通）03-3502-8036  
F A X： 03-3593-9564

##### ◎食料・農林水産業・農山漁村に関する意識・意向調査について

農林水産省 大臣官房統計部  
統計企画管理官 統計利活用支援班  
電話：（代表）03-3502-8111 内線：3591  
（直通）03-6744-2229  
F A X： 03-3501-9644

##### ◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部  
統計企画管理官 統計広報推進班  
電話：（代表）03-3502-8111 内線：3589  
（直通）03-6744-2037  
F A X： 03-3501-9644